

## FM/AM ミニディスクレコーダー

---

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよく読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



## MDX-C800REC

**警告**

# 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

## 道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこなうなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線が外れていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、  
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電



指挟み

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

# 目次

△警告・△注意 .....	4
はじめに .....	7
まず、本機をリセットする .....	7
MD・ラジオの聞きかた .....	8
MDに録音する .....	10
各部のなまえ .....	12
カードリモコン(別売り)の操作 .....	14
ロータリーコマンダー(別売り) の操作 .....	15
メニュー画面について .....	17
時計を合わせる .....	18

## MD・CD

MD/CDを聞く .....	19
繰り返し聞く(リピート再生) .....	22
曲順を変えて聞く (シャッフル再生) .....	23
聞きたい曲を好きな順に聞く (プログラム再生) .....	24
プログラムを変える (プログラム変更) .....	26
ディスクに名前をつける (ディスクメモ/カスタムファイル) .....	28
ディスクを名前で探す(リスト) .....	30
CD TEXTを見る .....	31

## MDの録音

CD/MDの再生中の曲だけを録音する (トラック録音) .....	33
CD/MDの再生中のディスクを 録音する(ディスク録音) .....	36
CD/MDから好きな曲を選んで 録音する(プログラム録音) .....	38
ラジオ放送を録音する (エアチェック録音) .....	39

## MDの編集

曲を消す(イレース機能) .....	41
曲を分ける(ディバイド機能) .....	44
曲をつなぐ(コンバイン機能) .....	46
曲を移動する(ムーブ機能) .....	48
ディスク名や曲名をつける (ネーム機能) .....	50

## ラジオ

放送局を自動で登録する .....	54
特定の放送局を登録する .....	57
放送局に名前をつける (ステーションメモ) .....	58
放送局を名前で探す(リスト) .....	60

## テレビ・ビデオ

別売りのテレビを見る .....	61
別売りのビデオを見る .....	63
映像を見ながらディスクを聞く (サイマルプレイ) .....	64

## 携帯電話

電話をかける .....	65
電話を受ける .....	66
その他の操作 .....	67
その他の設定 .....	68

## その他の操作

音のバランスや音質を設定する (バランス/フェーダー) (バス/トレブル) .....	69
スペクトラムアナライザーを選ぶ (SA) .....	71
音や表示などの設定を変える (Set Up/Display/Sound) .....	73
使用上のご注意 .....	75
MDの編集について .....	78
MDのシステム上の制約について .....	79
故障かな? .....	81
保証書とアフターサービス .....	88
主な仕様 .....	89
索引 .....	91



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する  
本機の取り付けには専門知識が必要です。  
万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の  
「取り付けと接続」の説明に従って、正し  
く取り付けてください。正しい取り付けを  
しないと、火災や感電の原因となります。



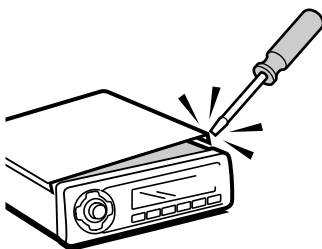
内部に水や異物を落とさない  
水や異物が入ると火災や感電の原因とな  
ります。万一、水や異物が入ったときは、す  
ぐに電源を切り、お買い上げ店またはソ  
ニーサービス窓口にご相談ください。



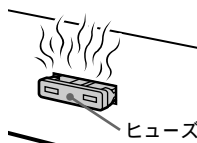
分解や改造をしない  
火災や感電、事故の原因となります。  
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソ  
ニーサービス窓口にご依頼ください。



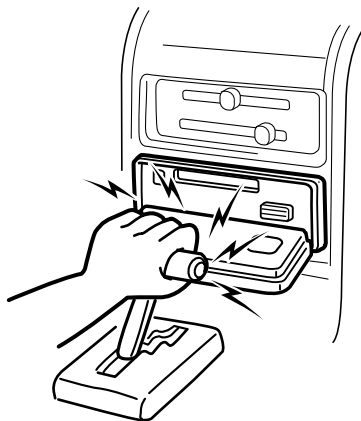
分解禁止



規定容量のヒューズを使う  
ヒューズを交換するときは、必ずヒューズ  
に記された規定容量のアンペア数のものを  
お使いください。規定容量を越えるヒュー  
ズを使うと、火災の原因となります。



走行中はフロントパネルを開けない  
車両によってはフロントパネルが開いてい  
ると運転操作の妨げになる場合があります。  
この場合は、MDの取り出しや交換は  
必ず車を止めて行ってください。また、フ  
ロントパネルを閉めてから走行してくださ  
い。

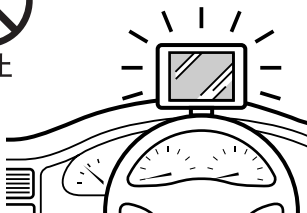


前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み



ACCポジションのない車のときは

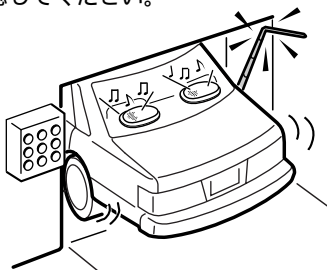
本体のOFFボタンを2秒以上押して時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

アンテナの高さより低い場所(駐車場や洗車機など)へ入るときはラジオ受信を停止する

ラジオを受信中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



禁止



走行中にMDの編集をしない

前方不注意などにより、事故の原因となることがあります。



禁止

## MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

良い音で聞くために車内でカップホルダーなどをお使いになるときは、不意の振動などでジュースなどがこぼれて、MDソフトにかけられないように充分ご注意ください。そのままMDを再生すると故障の原因になります。



### MD内部に直接触れない

シャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。本機から取り出したときなどに万一シャッターが開いてしまった場合は、すぐに閉めてください。



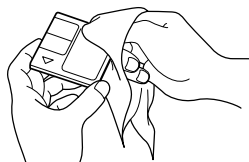
### 保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



### お手入れ

カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



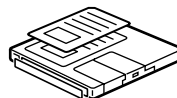
### ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDが本機から取り出せなくなることがあります。

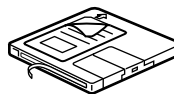
- 指定の場所に貼ってください。



- 重ねて貼らないでください。



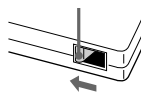
- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



録音内容を間違えて消さないために誤消去防止つまみをずらして、穴の開いた状態にします。再び録音するときは、つまみをもとに戻します。



誤消去防止つまみ



# はじめに

- 本機はMDとラジオに対応。
- CDやラジオからオリジナルディスクが作れるMD録音機能搭載。
- ラジオから録音時に最大10秒前までさかのぼって録音できるタイムマシン録音機能搭載。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンダー(別売り)に対応。

また、以下に記載した別売りの機器も本機のボタンで操作できます。

- CDチェンジャー、MDチェンジャー
- テレビ、ビデオ
- 携帯電話用ハンズフリーユニット XCH-1000

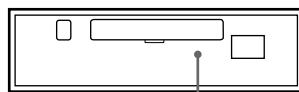
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのカードリモコンおよびロータリーコマンダー、CD/MDチェンジャーやテレビ、ビデオ、携帯電話用ハンズフリーユニットを接続した場合の操作方法についても説明しています。

## 録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
  - 本製品の故障、誤動作または不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
  - あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。なお、この商品の価格には、著作権上の定めにより、私的録音保証金が含まれております。
- (お問い合わせ先(社)私的録音保証金管理協会 Tel.03-5353-0336)

# まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、リセットボタンをつま楊枝の先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。



リセットボタン

## ご注意

- リセットボタンを押すと、時刻などの登録・設定した内容が消えるものがあります。その場合は、登録・設定し直してください。
- すでにMDが入っている場合は、挿入し直してから操作してください。リセット後そのまま操作すると、「NO Disc」などのエラー表示が出て正しく動作しないことがあります。
- リセットボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示したくない場合は、モーションディスプレイをOFFにしてください。(73、74ページ)
- テレビのリセットボタンを押したときは、必ず本機のリセットボタンも押してください。

# MD・ラジオの聞きかた

## MDを聞く

### 1 パネルを開ける

### 2 MDを入れる

MDを取り出す

ラベル面を上にして入れます。  
自動的に再生が始まります。

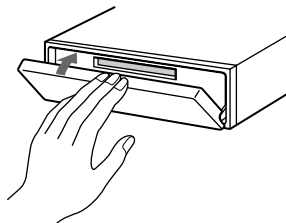
音量を調節する

ディスクが入っているときは  
SOURCEボタンを押して「MD」表示に  
すると再生が始まります。

表示を切り換えるには  
DSPLボタンを押します。

再生を止めるには  
OFFボタンを押します。

### 3 パネルを手で閉める



聞きたいところを探す(手動サーチ)  
SEEK/AMSボタンを押し続け、聞きたいと  
ころで離します。

曲の頭出しをする  
(自動選曲センサー(AMS))  
SEEK/AMSボタンをとばしたい曲の数だけ  
短く押します。

前に戻す



先に進める

曲の頭や前  
の曲へ戻す



次の曲へ進む



# ラジオを聞く

## 1 ラジオ受信にする

音量を調節する

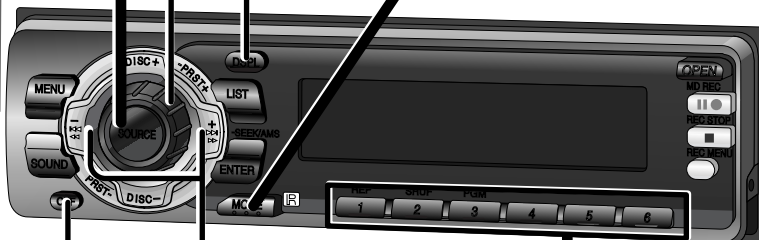
表示を切り換える

受信を止める

## 2 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとに

FM1 → FM2 → AM1 → AM2  
と切り換わります。



### 自動選局で受信する(自動選局)

SEEK/AMSボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押します。

前の放送局  
を探す



次の放送局  
を探す

### 希望の放送局を受信する(手動選局)

SEEK/AMSボタンを押し続け、聞きたい放送局の近くの周波数になったところで一度離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。

低い周波数の  
放送局を探す



高い周波数の  
放送局を探す

## 3 聞きたい放送局を選ぶ

数字ボタンに登録してあるときに選ぶことができます。

放送局の登録についてくわしくは54～57ページをご覧ください。

# MDに録音する

## ラジオを 録音する

ちょっと一言

②→③→①の手順でも、受信中にRECボタンを押してからMDを入れると録音待機になります。

### ① 録音用MD を入れる

8ページをご覧ください。

### ② 録音したい 放送局を 受信する

ラジオの受信のしかたについては、55ページをご覧ください。

### ③ 録音待機 にする

ボタンがオレンジ色に点灯し、表示窓の「●」表示が点滅します。



### ④ TM.RECを選ぶ

TM.RECを選ぶと、RECボタンを押して遅れてしまった場合に、最大10秒前までの放送を録音できます(タイムマシン録音機能)。一度設定しておくとは変更するまで同じ設定になります。

### ⑤ 録音を開始する

ボタンが赤色に点灯し、表示窓の「●」表示が点灯に変わります。

録音をやめるには  
REC STOPボタンを押します。

#### ご注意

- ・ 曲番(頭出しマーク)は、録音を一時停止したところで自動的に付きます。
- ・ 録音中は放送局を変えることはできません。録音待機にしてから変えてください。
- ・ 途中で録音済みMDでは、未録音部分を探して録音されます。
- ・ 振動の激しいところで録音すると音がとんで録音されることがあります。

## CD/MDを録音する

別売のCD/MD機器を接続して本機のMDに録音できます。

ちょっと一言

②→③→①の手順でも、CD/MD再生中にRECボタンを押してからMDを入れるとそのまま録音待機になります。

### ① 録音用MDを入れる

8ページをご覧ください。

### ② 録音したいCD/MDを再生する

19ページをご覧ください。

### ③ 録音待機にする

ボタンがオレンジ色に点灯し、表示窓の「●」表示が点滅します。



### ④ Track、DiscまたはPGMを選ぶ

Track : 再生中の曲のみ録音する

Disc : CD/MDの選んだ曲以降のすべての曲を録音する

PGM : 登録した好きな曲を録音する

「Track」を選択した場合、現在再生中の曲が曲の頭から録音されます。他の曲を録音したいときは、SEEK/AMSボタンを繰り返し押して曲を選びます。一度設定しておくと、変更するまで同じ設定になります。

「Normal」を選択した場合、MD RECボタンを押してからREC STOPボタンを押すところまでを録音します。

### ⑤ 録音を開始する

ボタンが赤色に点灯し、表示窓の「●」表示が点灯に変わります。

再生中の曲 (Track) CD/MD (Disc) または登録した曲 (PGM) の最初から録音を開始します。

録音が終わると自動的に録音待機になります (③に戻ります) が、CD/MDの再生は続きます。④で「Normal」を選択した場合は、MDがいっぱいになったところで録音を停止します。

録音をやめるには  
REC STOPを押します。

#### ご注意

- モノラル録音はできません。
- 録音中および録音待機中は次のことができません。
  - 一曲を変える (録音中は不可)
  - MDを取り出す
  - 名前への入力や編集
  - メニュー画面での操作
- 録音待機にするとリピート/

シャッフル/プログラム再生は解除されます。

- 録音後は次のようなとき、必ず先にMDを取り出してください。
  - エンジン切る前
  - バッテリー端子やバックアップ電源を外すとき
- 録音用MDの録音可能時間がCD/MDの演奏時間より少ない場合

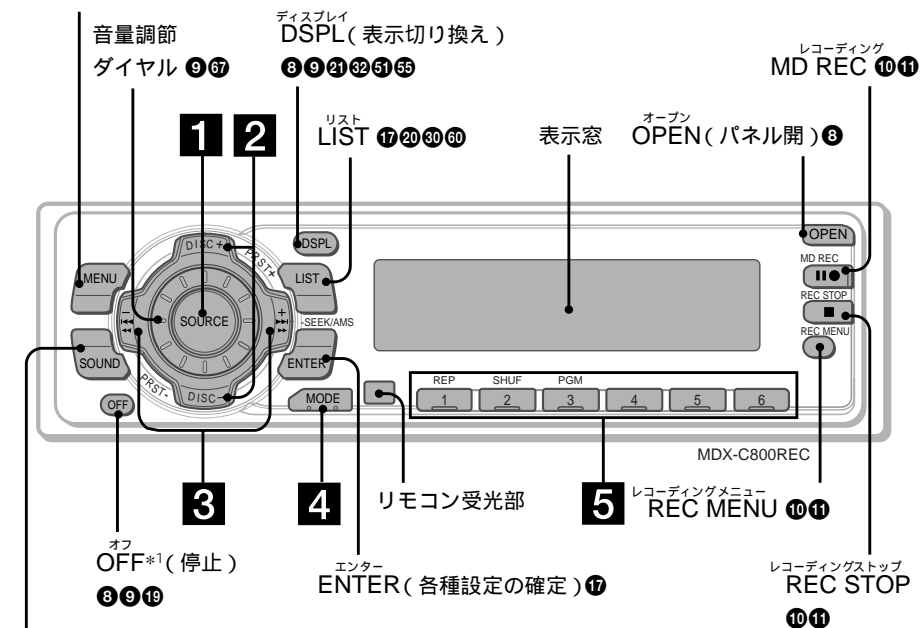
は、録音可能時間のみ録音されません。

- 録音を終えたあと、MD取り出し時にディスク挿入口および (MD取り出し) ボタンが点滅します。
- ディスクと本機の温度差がある場合は録音されないことがあります。

## 各部のなまえ

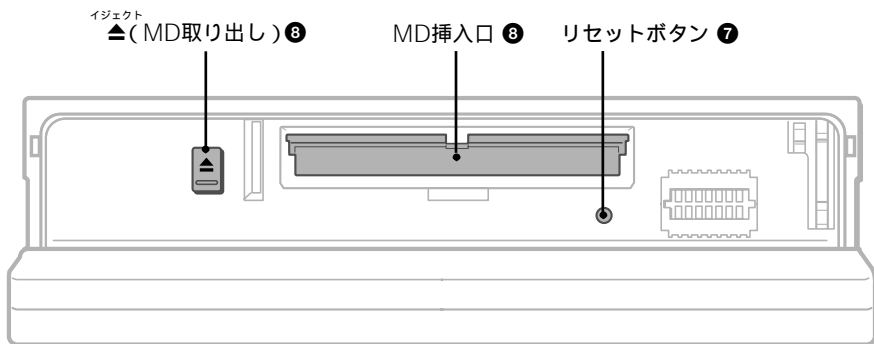
**首都のなまん** くわしい説明は●内のページをご覧ください。

メニュー  
MENU (各種設定モードに入る) 17 18 24 28 31 41 44 46 50 54 58 61 64 68 72 74



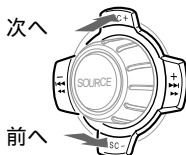
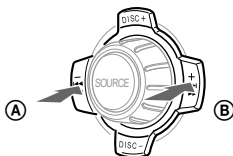
サウンド  
SOUND(音量調節 / 音質選択)

69 70



**1** ソース  
**SOURCE** (ラジオ/CD\*<sup>2</sup>/MD/TV/  
Video\*<sup>2</sup>/TEL\*<sup>2</sup>切り換え)

8 9 19 20 24 54 57 61 63 64 65 66 67 68 72

**2** ディスク/プリセット  
**DISC/PRST** (ディスク選択/プリセッ  
トサーチ/メニュー項目選択)17 18 20 24 26 28 29 30 31 41 44 46 48 50 51 52 54  
55 56 58 59 61 62 64 66 72 74ラジオ/TV\*<sup>2</sup> 登録した局の選局 60 62CD/MD ディスクの選択\*<sup>2</sup> 20**3** シーク/エーエムエス  
**SEEK/AMS** (頭出し/ラジオ選局/設  
定選択)8 9 18 20 24 26 31 33 36 41 42 44 45 47 48 49 50  
51 52 54 55 56 58 62 64 65 67 68 69 70 72 74

A

B

ラジオ 周波数の低い 周波数の高い  
放送局へ 放送局へ  
(押し続ける) (押し続ける)CD\*<sup>2</sup>/MD 前の曲へ 次の曲へ  
早戻し 早送り  
(押し続ける) (押し続ける)TEL\*<sup>2</sup> 着信履歴 発信履歴**4** モード  
**MODE**ラジオ FM1/FM2/AM1/AM2の  
切り換え 9 64 57CD/MD CD/MD機器の切り換え\*<sup>2</sup>  
19TV\*<sup>2</sup> TV1/TV2/AUXの切り換え  
61 63 64**5** 数字(1~6)ボタンラジオ 放送局の登録/選択  
9 55 57CD\*<sup>2</sup>/MD 1: REPボタン 22  
2: SHUFボタン 23  
3: PGMボタン 25TV\*<sup>2</sup> チャンネルの登録/選択  
62

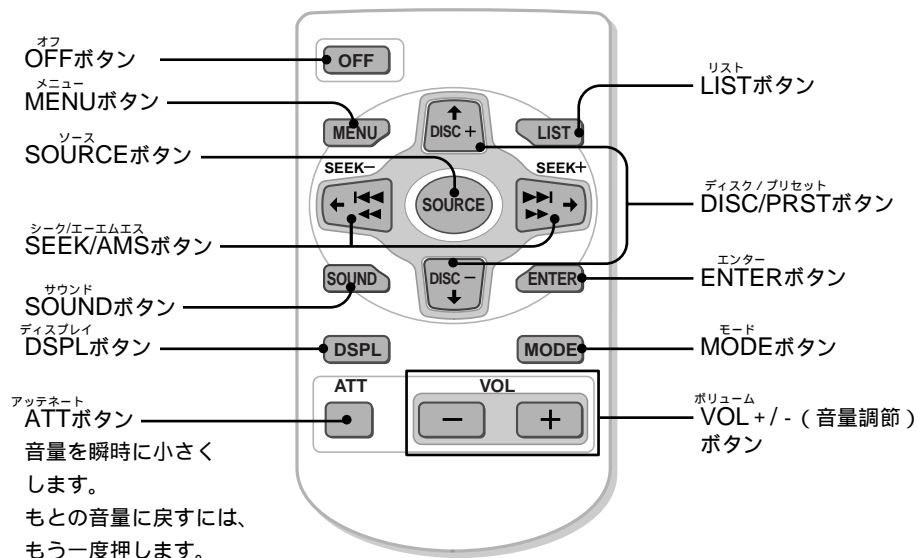
\*<sup>1</sup> ACCポジションのない車の場合、車から離れるときはOFFボタンを2秒以上押して時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

\*<sup>2</sup> 別売りの機器を接続しているとき

# カードリモコン(別売り)の操作

本機のボタンと同じ操作は、カードリモコンで行うことができます。

安全のため、カードリモコンの操作は運転者以外の同乗者が行うか、車を安全な所に止めてから行ってください。



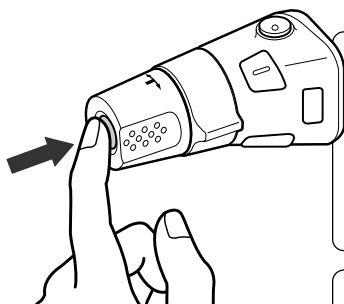
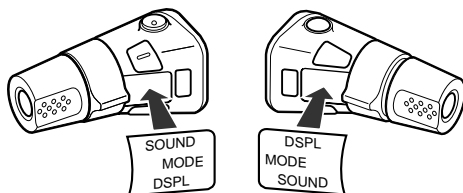
## ご注意

本体のOFFボタンを2秒以上押して時計表示を消してある場合は、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするには、まず本体のSOURCEボタンを押すか、ディスクを挿入して本機の電源を入れてください。

# ロータリーコマンダー(別売り)の操作

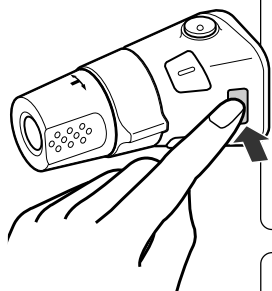
## ロータリーコマンダーのシールについて

本機には、別売りのロータリーコマンダー(RM-X4S)を接続してお使いになれます。ロータリーコマンダーには、ボタン名称のシールが数枚付属されています。本機には図のシールをお使いください。また、ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。

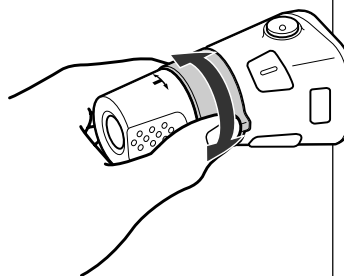


**ソース**  
**SOURCE**ボタンを押すと  
本機の電源が入り、繰り返し押すとソースが  
ラジオ CD\* MD TV\* TEL\* ラジオ  
と切り換わります。

\* 別売りの機器接続時のみ

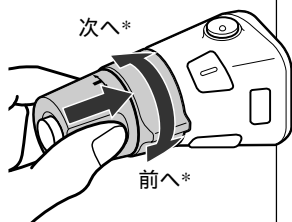


**モード**  
**MODE**ボタンを押すと  
ラジオの時: FM1 FM2 AM1 AM2 FM1  
CDの時: CD1 CD2 CD3 ... CD1  
MDの時: MD1 MD2 MD3 ... MD1  
テレビ/ビデオの時:  
TV1 TV2 AUX TV1  
と切り換わります。



**シーク/エーエムエス**  
**SEEK/AMS**つまみを短く回して離すと  
ラジオ... 自動的に放送局を受信する  
回し続けると特定の周波数に合わせられます。  
CD/MD... 曲の頭出しをする  
回し続けると早送り/早戻しになり、離すと再生に戻ります。  
テレビ... 自動的に放送局を受信する  
回し続けると特定のチャンネルに合わせられます。  
TEL... 発信・着信履歴をそれぞれ最大10件まで呼び出せます。

## ロータリーコマンダーの操作(つづき)



ボリューム

**VOLつまみを押しながら回すと**

FM/AM/TV... 登録した放送局を順に受信する

MD/CD ..... ディスクを切り換える\*\*

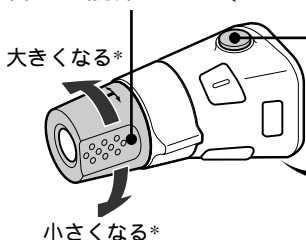
ボリューム

**VOLつまみを押しして離すと**

TEL ..... 発信/着信を行う

表示画面は数秒後にもとに戻ります。

音量を調節する\*\*\* (VOLつまみを回す)



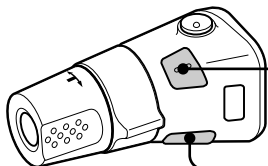
音量を瞬時に下げる(ATTボタンを押す)  
アッテネート  
解除するにはもう一度押すか、VOLつまみ  
で音量を上げます。

電源を切る (OFFボタンを2秒以上押す)  
再生/受信の停止 (OFFボタンを押す)

\* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

\*\* 別売りの機器接続時のみ。

\*\*\* TEL時は携帯電話に登録されている電話番号を選択するつまみになります。



音量調節・音質選択する (SOUNDボタンを押す)  
サウンド  
本体のSOUNDボタンと同じ働きをします。

画面表示を変える (DSPLボタンを押す)  
ディスプレイ  
本体のDSPLボタンと同じ働きをします。

## つまみの操作方向を切り換える

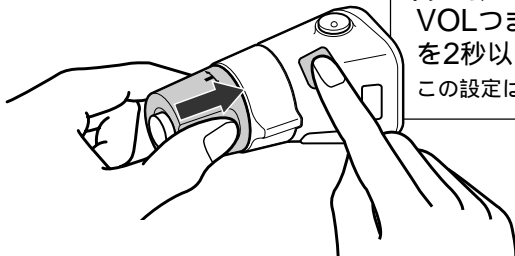
運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。

ボリューム

サウンド

**VOLつまみを押しながら、SOUNDボタンを2秒以上押す**

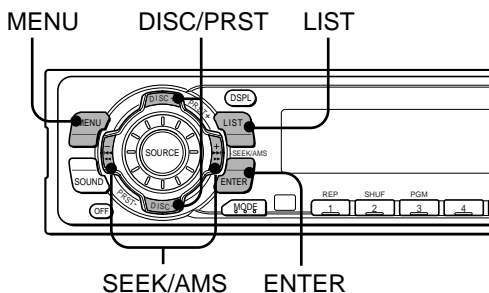
この設定は、本体でもできます(73、74ページ)。



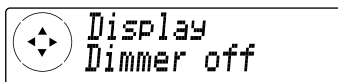


# メニュー画面について

MENUボタンを押すと次のようなメニューが表示されます。



## メニュー画面 (MENUボタンを押して表示)



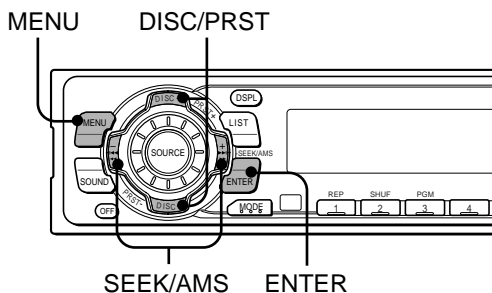
- ① MENUボタンを押すと各種設定や調節を行う画面になります。
- ② DISC/PRSTボタンまたはSEEK/AMSボタンを押して設定項目と設定内容を選び、ENTERボタンを押して決定します。
- ③ MENUボタンを押すと、メニュー画面を解除して通常画面に戻ります。

### ちょっと一言

- 別売りのカードリモコンで操作をしているときは、もう一度MENUボタンを押して通常再生画面に戻します。  
本体で操作しているときは操作なしで5秒後に戻ります。
- 選択した項目を変更しないでもとの画面に戻るには、MENUボタンを押します。

# 時計を合わせる

本機は12時間表示です。



ちょっと一言

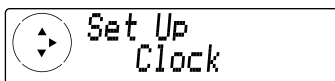
- D.Info機能をonに設定すると再生/受信中は常時計が表示されます(73、74ページ)。
- スペクトラムアナライザーの表示パターンによっては表示しないものがあります。

ご注意

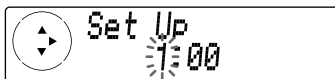
ACCポジションのない車のときは、SOURCEボタンを押すかMDを挿入して本機の電源を入れてから、時計を設定してください。

## 1 MENUボタンを押す。

## 2 DISC/PRSTボタンの+または-を押して「Clock」を選ぶ。



## 3 ENTERボタンを押す。



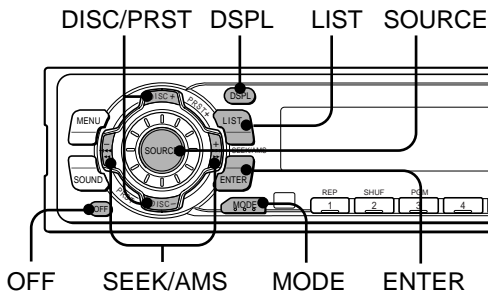
- ❶ DISC/PRSTボタンの+または-を押して「時」を合わせます。
- ❷ SEEK/AMSボタンの+側を押して「分」の位置に移動し、DISC/PRSTボタンの+または-を押して「分」を合わせます。  
DISC/PRSTボタンの-側を押すと数値が戻り、  
DISC/PRSTボタンの+側を押すと数値が進みます。

## 4 設定後、ENTERボタンを押す。

設定時刻が登録され、通常の画面に戻ります。

# MD/CDを聞く

本機または別売りのMD/CDチェンジャーを使って、MDやCDを再生できます。

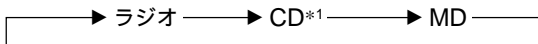


## ご注意

CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合は、すべての文字を表示しないことがあります。

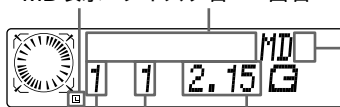
## 聞きたいソースを選ぶ

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「CD」または「MD」を選ぶ。



\*1 別売り機器接続時のみ

MD表示 ディスク名\*2 / 曲名\*2 ユニット番号\*3



ディスク番号\*3 曲番号 再生経過時間

\*2 名前がついているときのみ表示されます。

\*3 CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

- 2 MODEボタンを繰り返し押して、CDまたはMDチェンジャーを選ぶ。

別売りのMDチェンジャーを接続した場合

MD1(本機)→MD2(MDチェンジャー1)→MD3(MDチェンジャー2)→・・・→MD1

別売りのCDチェンジャーを接続した場合

CD1(CDチェンジャー1)→CD2(CDチェンジャー2)→CD3(CDチェンジャー3)→・・・→CD1

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

次のページへつづく

## MD/CDを聞く(つづき)

### ちょっと一言

ディスク名から選ぶには、「ディスクを名前で探す」(30ページ)をご覧ください。

### ちょっと一言

ディスクの先頭または終わりになると「*.....*」または「*~~~~~*」と表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

### 聞きたいディスクを選ぶには

CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中に、DISC/PRSTボタンの+または-を繰り返し押す。

次のディスクまたは前のディスクに1枚ずつ切り換わります。

### 聞きたい曲を選ぶには

再生中にSEEK/AMSボタンの+または-を繰り返し押す。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

### 曲の聞きたいところにするには

再生中にSEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて、聞きたいところで離します。

ちょっと一言

- 「オートスクロールの設定」(31ページ)でA.Scr! on!にしておくと、ソースをCDやMDにしたとき、ディスクや曲が変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。
- モーションディスプレイを設定していると、DSPLボタンを押して表示を切り換えた約10秒後にすべての表示を表示します。

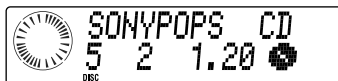
ご注意

- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。
- 本機ではMDやCD TEXTに記録されているディスク/アーティスト名や曲名などはアルファベットと数字のみ表示できます。
- 漢字、ひらがなのみを入力されたMDを再生した場合は、「NO Name」と表示されます。

## 表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押して表示を切り換えます。  
10文字以上の長い名前は自動的にスクロール表示します。

### CDの再生の場合



ディスク名/アーティスト名\*1\*2



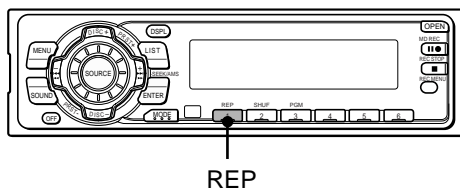
曲名\*3

- \*1 ディスク名がついていない時は「NO D.Name」と一瞬表示されます。
- \*2 CD TEXTにディスクメモ機能で名前をつけてあるときは、ディスクメモの名前を表示します。
- \*3 MD、またはCD TEXT対応のCDチェンジャーでCD TEXTディスク再生時のみ。曲名がついていないときは「NO T.Name」と一瞬表示されます。

# 繰り返し聞く

(リピート再生)

再生中の曲のみ、またはディスク内の全曲を繰り返し聞くことができます。



MDまたはCDを再生中にREPボタンを押す。

REPボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 1曲のみ繰り返す ..... 「Repeat 1」にする。
- 再生しているディスクを繰り返す  
..... 「Repeat 2」\*にする。

\*CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

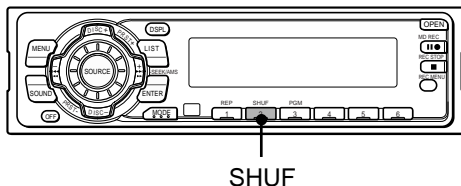
リピート再生をやめるには

REPボタンを押して「Repeat off」を選びます。

# 曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のディスク内の全曲、またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。

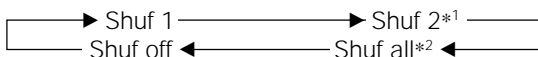


## ご注意

「Shuf 2」と「Shuf all」では、すべての曲を再生し終える前に、同じ曲が再生されることがあります。

MDまたはCDの再生中にSHUFボタンを押す。

SHUFボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 再生中のディスク内の全曲を順不同に再生するには ..... 「Shuf 1」にする。
- 再生しているチェンジャー内のディスクを順不同に再生するには ..... 「Shuf 2」\*1にする。
- 本機および接続しているすべてのチェンジャー内のディスクの曲を順不同に再生するには ..... 「Shuf all」\*2にする。

\*1 CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

\*2 MDチェンジャー1台以上またはCDチェンジャー2台以上接続時のみ表示されます。

シャッフル再生をやめるには

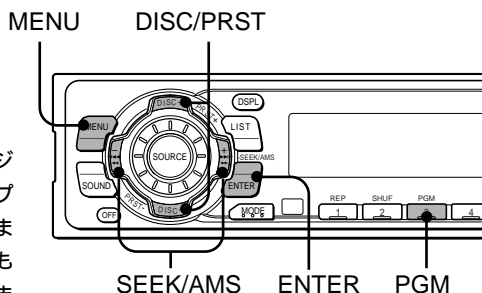
SHUFボタンを押して「Shuf off」を選びます。

M  
D  
・  
C  
D

# 聞きたい曲を 好きな順に聞く

## (プログラム再生)

ディスクの中から好きな曲だけを集めてオリジナルのプログラムを楽しむことができます。プログラムで聞きたい順番に24曲まで登録できます。一度登録すると、ディスクを入れ換えても最初に指定した順番のまま再生されます。また、MDとCDの曲を組み合わせるプログラムを作ることができます。



### ご注意

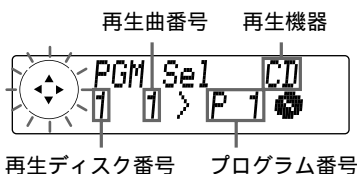
- プログラム登録をしたMDに録音 / 編集をするとそのMDの登録は消えてしまいます。
- プログラム作成 (登録 / 変更) 中はシャッフル再生やリピート再生は保留されます。

### ちょっと一言

PGM登録時は、SOURCEボタンを押すごとに  
CD1 → CD2 → ...  
→ MD1 → MD2 → ...  
と切り換わります。  
(プログラム再生に対応したCD/MDチェンジャー接続時のみ)

## プログラムを登録する

- 1 MDまたはCDの再生中にMENUボタンを押す。
- 2 DISC/PRSTボタンの+または-を押して「PGM Sel」を選ぶ。
- 3 ENTERボタンを押す。



## 4 プログラムする曲を選ぶ。

- ① SOURCEボタンを繰り返し押して、本機またはCD/MDチェンジャーを選びます。
- ② DISC/PRSTボタンの+または-を2秒以上押して、ディスクを選びます。(CD/MDチェンジャーを接続してCD/MDチェンジャーを選んだ場合)
- ③ SEEK/AMSボタンの+または-を押してプログラムに登録する曲を選びます。
- ④ DISC/PRSTボタンの+または-を押してその曲に登録するプログラム番号を選びます。



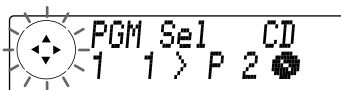
#### ご注意

24のプログラム番号すべてに登録すると「\*Mem FULL\*」が表示され、それ以上登録することはできません。

#### ご注意

- 「Not Ready」: データの読み込みが終了するまで表示されます。
- 「No Data」: プログラムの登録がないときに表示されます。

## 5 ENTERボタンを押す。



手順4と5を繰り返して曲を追加します。

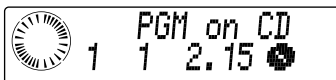
## 6 最後に、MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

## 登録したプログラムで再生する

MDまたはCDの再生中にPGMボタンを押す。

プログラム再生が始まります。



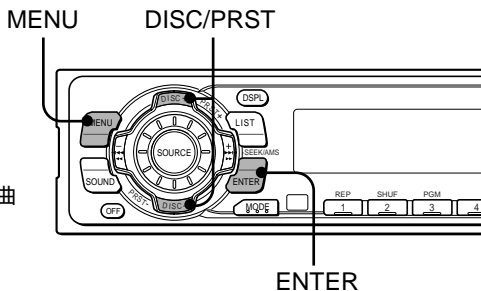
プログラム再生をやめるには

PGMボタンを押して「PGM off」を選びます。

# プログラムを 変える

(プログラム変更)

登録したオリジナルのプログラムに聞きたい曲を追加登録することができます。



ちょっと一言

曲と曲の間に追加したい場合は、追加したいプログラム番号で新たにENTERするとそれ以降の曲が後ろに移動します。

ご注意

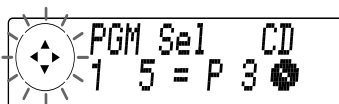
24のプログラム番号すべてに登録すると「\*Mem FULL \*」が表示され、それ以上登録することはできません。

## プログラムに曲を追加する

「プログラムを登録する」(24、25ページ)と同じ操作で追加することができます。

## プログラムに登録した曲を消去する

- 1 MDまたはCDの再生中に、MENUボタンを押す。
- 2 DISC/PRSTボタンの+または-を押して「PGM Sel」を選ぶ。
- 3 ENTERボタンを押す。
- 4 DISC/PRSTボタンの+または-を押して消去する曲を選ぶ。



ちょっと一言

登録した曲がすべて消去されると、「NO Data」と表示されます。

---

## 5 ENTERボタンを2秒押す。

プログラム番号から曲を消去すると、それ以後の曲が繰り上がります。

他の曲の消去をするには、手順4と5を繰り返してください。

---

## 6 MENUボタンを2回押す。

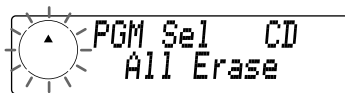
通常の画面が表示されます。

---

## プログラムごと消去する

---

- 1 「プログラムに登録した曲を消去する」の手順4で「ALL Erase」を選び、ENTERボタンを2秒以上押します。



「NO Data」が表示され、プログラムがすべて消去されます。

---

## 2 MENUボタンを2回押す。

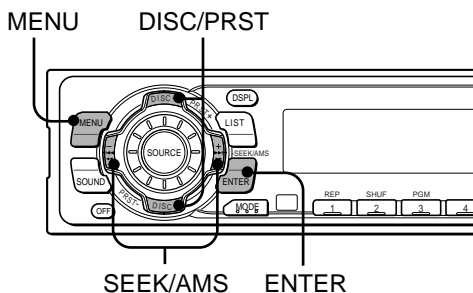
通常の画面が表示されます。

---

# ディスクに名前をつける

(ディスクメモ/カスタムファイル)

別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。MDについては「ディスク名や曲名をつける」(50～53ページ)をご覧ください。



## ご注意

ディスクメモを入力中は自動的にディスクリビートになります。その間、シャッフル再生やRepeat1は保留されます。

## ちょっと一言

- CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイルに対応しているチェンジャーを1台接続していれば対応していないチェンジャーに入っているCDにも名前をつけます。
- 文字入力を間違えたときは、SEEK/AMSボタンの一側を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- 手順1、2の代わりにLISTボタンを2秒間押してもディスク名入力モードになります。また、手順4の代わりにLISTボタンを2秒間押しても通常の画面表示に戻ります。

**1** CDを再生中にMENUボタンを押す。

**2** DISC/PRSTボタンの+または-を押して「Name Edit」を選び、ENTERボタンを押す。



**3** DISC/PRSTボタンの+または-を押して入力する文字を選び、SEEK/AMSボタンの+側を押して次の文字に移動させる。



DISC/PRSTボタンの+側を押すごとに

A ... Z → 0 ... 9 → + → - → \* → / → \ →  
→ . → ■

と変わります。一側を押すと、逆順に表示されます。

スペースを入れたいときは■を入力するか、続けてSEEK/AMSボタンの+側を押します。

**4** 手順3を繰り返して、名前を入力し終わったらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

### ご注意

- 手順3では、CDチェンジャーのメモリーに保存されているすべてのディスクの名前が登録された順に表示されます。最後に入力した名前が最後に表示されます。
- 名前の消去は、名前が登録されているCDチェンジャー内のCDを再生しないとできません。
- 「名前を消去するには」で消したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャー内のCDを再生してください。
- 後から入力したディスクメモを消去すると、もともとあったCD TEXT情報が表示されます。

### ちょっと一言

「ディスクに名前をつける」(28ページ)の手順3で、すべての文字に「■」を入力して名前を消すこともできます。

## 名前を消去するには

- 1 カスタムファイル対応のCDチェンジャーでCDの再生中にMENUボタンを押す。

- 2 DISC/PRSTボタンの+または-を押して「Name Del」を選び、ENTERボタンを押す。



- 3 DISC/PRSTボタンの+または-を押して消去するディスクの名前を選ぶ。



- 4 ENTERボタンを2秒以上押す。

選択したディスクの名前が消去されます。

ほかのディスクの名前を消すときは手順3～4を繰り返します。

- 5 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

# ディスクを名前 で探す

## (リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- 別売りのMDチェンジャーで名前の記録されているMDを再生した場合
- 別売りのCD TEXT対応のCDチェンジャーでCD TEXTディスクを再生した場合
- 別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャーでCDを再生した場合

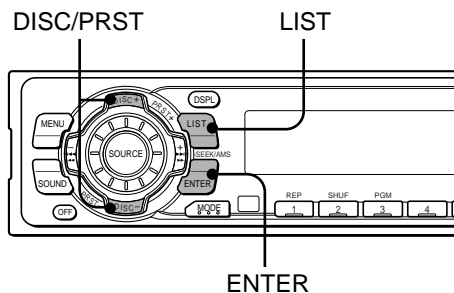
CDについてはディスクメモ機能(28ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

### ご注意

- ディスク名のリスト画面には、次の表示が出ることがあります。
  - 「NO Disc」: ディスクが入っていない。
  - 「\*\*\*\*\*」: 名前をつけていない、またはCD TEXT対応のチェンジャーでCD TEXTでないCDを再生したとき。
  - 「?」: ディスク情報を読み込んでいない。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しないことがあります。

### ちょっと一言

- 別売りのカードリモコンで操作をしているときは、もう一度LISTボタンを押して通常再生画面に戻します。本体で操作しているときは操作なしで5秒後に戻ります。
- 選択をキャンセルするにはLISTボタンを押します。



## 1 再生中にLISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



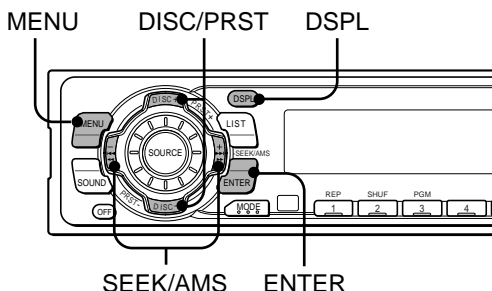
## 2 DISC/PRSTボタンの+または-を押してディスクを選ぶ。

## 3 ENTERボタンを押す。

そのディスクの1曲目から再生が始まります。

# CD TEXTを見る

CD TEXT対応のCDチェンジャーを接続してCD TEXT対応のディスクを再生中に、その文字情報(アルバム名、アーティスト名、曲名など)を表示することができます。



## CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

## ご注意

- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合は、すべての文字数を表示しきれなかったりスクロールしないことがあります。
- 曲名(ディスク名)のオートスクロールは、DSPLボタンを押して曲名(ディスク名)表示にしているときだけです。

## CD TEXT対応ディスクを再生すると

DSPLボタンを押すごに



と切り換わります。

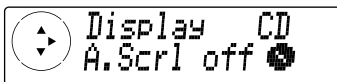
\* アーティスト名はディスク名のあとに自動的に表示されます。またアーティスト名の記録されていないディスクもあります。

## オートスクロールの設定

CD TEXT対応CDまたはMDを再生している場合は、ディスクまたは曲が切り換わったとき、およびSOURCEをCDまたはMDにしたときに、この設定を「on」にしておくと13文字以上のディスク名および曲名を自動的にスクロールさせることができます。

**1** CDまたはMDの再生中にMENUボタンを押す。

**2** DISC/PRSTボタンの+または-を押して「A.Scr」を選ぶ。



## CD TEXTを見る(つづき)

---

**3** SEEK/AMSボタンの+側を押して「A.Scrl on」を選ぶ。

---

**4** ENTERボタンを押す。  
通常の画面が表示されます。

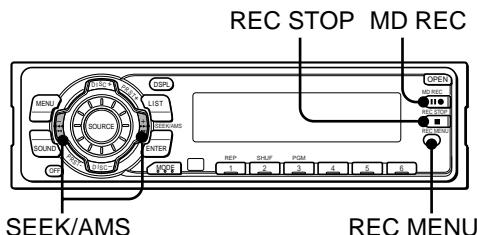
---



# CD/MDの再生 中の曲だけを録音する

(トラック録音)

再生中の曲だけを、自動的にその曲の頭から録音できます。



## ご注意

- モノラル録音はできません。
- 録音中および録音待機中に本機のOFFボタンやCDチェンジャー(別売り)のマガジン取り出しボタン、MDチェンジャー(別売り)のSTOPボタンを押すとその状態が中断/解除されます。
- 録音待機にするとリピート/シャッフル/プログラム再生は解除されます。

## ちょっと一言

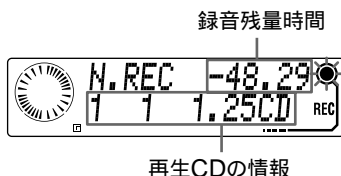
- 録音済みMDでは未録音部分を探して録音されます。
- 録音を終えたあとMD取り出し時にディスク挿入口および▲(MD取り出し)ボタンが点滅します。

## 1 録音用MDを本機に入れる(8ページ)。

## 2 録音したいCD\*またはMD\*を再生する。

\* 別売りのCD/MDチェンジャー内のディスク

## 3 MD RECボタンを押す。



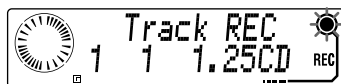
録音残量時間が表示されます。

「●」が点滅して、録音待機状態になります。

## 4 REC MENUボタンを繰り返し押して、「Track REC」を選ぶ。



\* あらかじめプログラムを登録していないと表示されません。



## 5 SEEK/AMSボタンの+または-を繰り返し押して、録音したい曲を選ぶ。

## CD/MDの再生中の曲だけを録音する(つづき)

\* 別売りのCD/MDチェンジャー内のディスク

ちょっと一言

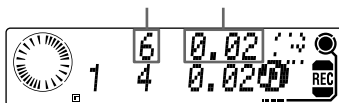
「REC NO Disc」表示中(約10秒間)に挿入してください。

表示が消え、通常の画面にもどると、録音待機状態は無効になります。

### 6 もう一度MD RECボタンを押す。

再生中の曲の頭まで戻って録音が始まります。

MDの曲番号 MDの録音経過時間



「●」が点灯に変わり、録音が始まります。

録音を終えるとMD(本機)は自動的に録音待機状態になります(手順3に戻ります)が、CD\*またはMD\*の再生は続きます。

録音待機状態を解除するには  
REC STOPボタンを押します。

## 録音用MDをあとから入れて録音する

### 1 録音したいCD\*またはMD\*を再生して、MD RECボタンを押す。

「REC NO Disc」と表示され、MD挿入待機状態になります。

\* 別売りのCD/MDチェンジャー内のディスク

### 2 録音用MDを10秒以内に挿入する。

録音したいソースが切り換わることなく、録音待機状態になります。

### 3 REC MENUボタンを繰り返し押して、「Track REC」を選ぶ。

### 4 MD RECボタンを押す。

録音が始まります。

### ご注意

- RECコンティニュー機能使用中はエンジンをかけないでください。録音が失敗する場合があります。
- 電流検出型の盗難防止装置を取り付けている車では、タイマーオフ録音またはRECコンティニュー機能が終了したときに、車両側の電流変化を検出して盗難防止装置が誤作動することがあります。

## エンジンを止めたあとも録音を続ける (RECコンティニュー機能)

1 録音用MDを本機に入れる(8ページ)。

2 録音したいCD\*またはMD\*を再生する。

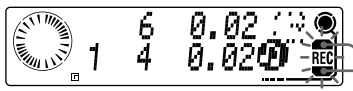
\* 別売りのCD/MDチェンジャー内のディスク

3 MD RECボタンを押す。

4 REC MENUボタンを繰り返し押して、「Track REC」、「Disc REC」または「PGM REC」を選ぶ。

5 もう一度MD RECボタンを押して録音を始める。

6 REC MENUボタンを繰り返し押して、「Continue on」を選ぶ。



録音続行中は点滅

7 エンジンを止めフロントパネルを取り外し、車を離れることができます。

RECコンティニュー中は「ピピッ」と鳴り続け、録音が完了すると鳴り止みます。

録音が終わったあと、エンジンをかけてからフロントパネルを取り付けると、録音ができただけの場合は、表示窓に「REC Complete!」と表示されます。

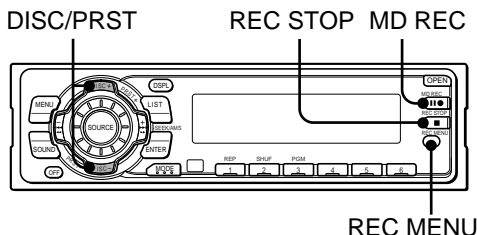
### ご注意

- タイマーオフ録音またはRECコンティニュー機能を頻繁に行くとバッテリーあがりの原因となります。バッテリーの充電状態をよく確認してからこれらの機能を使ってください。
- 別売りのPDCハンズフリーユニットXCH-1000を接続しているときは、CD/MDチェンジャーでRECコンティニュー機能を使うと録音失敗する可能性があります。

# CD/MDの再生 中のディスクを 録音する

(ディスク録音)

再生中のディスクの選んだ曲以降すべての  
曲を録音することができます。



## ご注意

- 録音用のMDの録音可能残量時間が再生しているディスクのトータル時間より少ない場合、録音残量時間分のみ録音されます。
- 録音中および録音待機中に本機のOFFボタンやCDチェンジャー（別売り）のマガジン取り出しボタン、MDチェンジャー（別売り）のSTOPボタンを押すとその状態が中断／解除されます。

## ちょっと一言

- 録音を終えたあとMD取り出し時にディスク挿入口および▲(MD取り出し)ボタンが点滅します。
- 録音済みMDでは未録音部分を探索して録音されます。
- 録音するMDが入ってなくても先にCDを再生させて、MD RECボタンを押してからMDを入れると手順3の状態になります(34ページ)。

## 1 録音用MDを本機に入れる(8ページ)

## 2 録音したいCD\*またはMD\*を再生する。

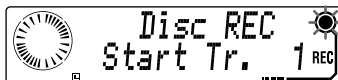
\* 別売りのCD/MDチェンジャー内のディスク

## 3 MD RECボタンを押す。

録音残量時間が表示されます。

「●」が点滅して、録音待機状態になります。

## 4 REC MENUボタンを繰り返し押し、「Disc REC」を選ぶ。



CD/MDチェンジャー接続時、チェンジャー内の他のディスクを録音するときは、DISC/PRSTボタンの+または-を押してディスクを選びます。

## 5 SEEK/AMSボタンの+または-を押して録音を始めるトラックを選ぶ。

全曲を録音する場合は、1曲目を選びます。

\* 別売りのCD/MDチェン  
ジャー内のディスク

---

## 6 もう一度MD RECボタンを押す。

「●」が点灯に変わり、選んだ曲のはじめに戻ってそのディスクの録音が始まります。

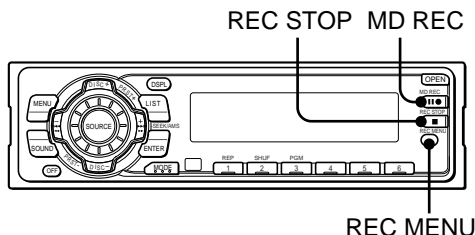
録音が終わるとMD(本機)は自動的に録音待機状態になります(手順3に戻ります)が、CD\*またはMD\*の再生は続きます。

---

録音待機状態を解除するには  
REC STOPボタンを押します。

# CD/MDから好きな曲を選んで録音する

(プログラム録音)



プログラム機能(24、25ページ)で登録した好きな曲を好きな順番で録音できます。

## ご注意

- 録音用MDの録音可能残量が再生しているディスクのトータル時間より少ない場合は、録音残量時間分のみ録音されます。
- プログラム登録されているCD/MDが1曲も準備されていないときは、「Not Ready」と表示されます。
- 本機に挿入されている録音用MD中の曲がプログラムに登録してあると、手順3で「Not Ready」と表示されます。この場合、その曲をプログラムから消去してください。
- 録音中および録音待機中に本機のOFFボタンやCDチェンジャー(別売り)のマガジン取り出しボタン、MDチェンジャー(別売り)のSTOPボタンを押すとその状態が中断/解除されます。

## ちょっと一言

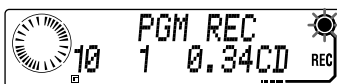
- 録音を終えたあとMD取り出し時にディスク挿入口および▲(MD取り出し)ボタンが点滅します。
- 録音するMDが入ってなくても先にCDを再生させて、MD RECボタンを押してからMDを入れると手順3の状態になります(34ページ)。

## 1 録音用MDを本機に入れる(8ページ)

## 2 MD RECボタンを押す。

「●」が点滅して録音待機状態になります。

## 3 REC MENUボタンを繰り返し押し、「PGM REC」\*1を選ぶ。



\*1 あらかじめプログラムに登録していないと表示されません。

## 4 もう一度RECボタンを押す。

「●」が点灯に変わり、プログラムの1曲目に戻って録音が始まります。

録音が終わるとMD(本機)は自動的に録音待機状態になります(手順2に戻ります)が、CD\*2またはMD\*2の再生は続きます。

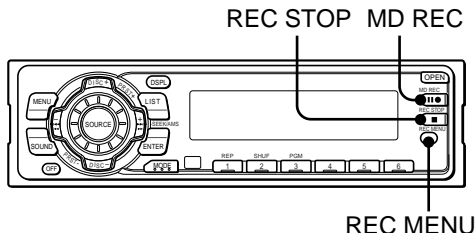
\*2 別売りのCD/MDチェンジャー内のディスク

録音待機状態を解除するには  
REC STOPボタンを押します。

# ラジオ放送を録音する

(エアチェック録音)

好きなところで録音を始めたりやめることができます。また録音を一時停止することもできます。



## ご注意

- 曲番(頭出しマーク)は、録音を一時停止したところでも自動的に付きます。
- 録音中は放送局を変えることはできません。録音を一時停止して変えてください。

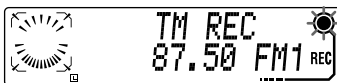
## ちょっと一言

- 録音するMDが入ってなくても先に放送局を受信してからMDを入れると手順3の状態になります(34ページ)。
- 録音済みMDでは未録音部分を探して録音されます。
- 録音を終えたあとMD取り出し時にディスク挿入口および▲(MD取り出し)ボタンが点滅します。

## ラジオを録音する

- 録音用MDを本機に入れる(8ページ)。
- 録音したい放送局を受信する(55ページ)。
- MD RECボタンを押す。  
「●」が点滅して、録音待機状態になります。

- REC MENUボタンを繰り返し押して、「TM REC」を選ぶ。



録音開始が遅れても最大10秒前までの放送を録音することができます。一度設定しておくと変更するまで同じ設定(録音モード)になります。

REC MENUボタンを繰り返し押して、「Normal REC」を選ぶと、次に、MD RECボタンを押した時点からの録音になります。

- 録音したいところでもう一度MD RECボタンを押す。

「●」が点灯に変わり、録音が始まります。

## ラジオ放送を録音する(つづき)

### ご注意

- ・ タイマーオフ録音中はエンジンをかけないでください。録音が失敗する場合があります。
- ・ TVチューナーやビデオデッキを接続している場合、タイマーオフ録音中はTVモニターの電源は自動的に切れません。車を離れるときはTVモニターの電源を切ってください。
- ・ タイマーオフ録音中はパワーアンテナが上がったままになります。(録音が終わると自動的に下がります。)
- ・ ラジオ放送を録音する場合、聞いている時の受信状態で録音されます。(音切れ、ノイズなどが起こるとそのまま録音されます。)

### ご注意

別売りのPDCハンズフリーユニットXCH-1000を接続している場合、携帯電話の会話を録音するときは、通話相手の声のみ録音されます。

録音を一時停止するには  
MD RECボタンを押します。  
「●」が点滅に変わります。  
もう一度押すと録音が始まります。

録音をやめるには  
REC STOPボタンを押します。

## エンジンを止めたあとも録音を続ける (タイマーオフ録音)

1 録音用MDを本機に入れる(8ページ)。

2 録音したい放送局を受信する(55ページ)。

3 MD RECボタンを押す。

4 もう一度MD RECボタンを押して録音を始める。

5 REC MENUボタンを繰り返し押して、何分後に録音を止めるか時間を選ぶ。

REC MENUボタンを押すごとに、表示は次のように変わります。

→ 10 → 20 → ... → 80 → off →

## テレビ、ビデオ、携帯電話を録音する

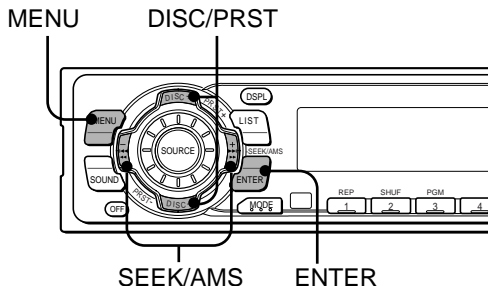
ラジオと同様に別売りのテレビ、ビデオ、携帯電話の音声も録音できます。

ソースの選びかたは、「別売りのテレビを見る」(61ページ)「別売りのビデオを見る」(63ページ)または「電話をかける」(65~68ページ)をご覧ください。



# 曲を消す (イレース機能)

録音した曲を瞬時に消したり、曲の中の不要な部分だけを消すことができます。また、カセットテープのように消した部分が無音のまま残ることもありません。また、曲を消す方法には「1曲ずつ消す」、「MDの内容をすべて消す」、「曲中の一部分を消す」の3種類があります。



運転中は危険ですので曲を消すなど、MD編集は行わないでください。

## ご注意

- いったん消すと元に戻りません。もう一度確認してください。
- 曲を消すと、次の曲が順に繰り上がり、自動的に連続した曲番が付きます。
- 「Protected」が表示されたら、そのディスクは誤消去防止状態になっています。(6ページ)
- 編集中はREP、SHUF、PGM、DSPLの各ボタンは使えません。

## ちょっと一言

編集後、MD取り出し時にディスク挿入口および▲(MD取り出し)ボタンが点滅します。

## 1曲ずつ消す

- 1 編集したいMDを再生してMENUボタンを押す。
- 2 DISC/PRSTボタンの+または-を押して「Erase」を選ぶ。



- 3 ENTERボタンを押す。



- 4 「Track」が点滅している間に、ENTERボタンを押す。

- 5 消したい曲を選ぶ。

- ① SEEK/AMSボタンの+または-を押して曲番号を選ぶ。  
1曲リピート再生になります。



消したい曲の番号

- ② ENTERボタンを押す。

次のページへつづく

## 曲を消す(つづき)

### ちょっと一言

中止するときは、「No」を選びます。

### ご注意

「Complete!」表示のあとしばらく音がなくなりますが故障ではありません。

### ご注意

いったん消すと元に戻りません。もう一度確認してください。

### ちょっと一言

- 中止するときは、「No」を選びます。
- 編集後、MD取り出し時にディスク挿入口および▲(MD取り出し)ボタンが点滅します。
- 「Blank Disc」になると次のソースに自動的に切り換わります。また次にソース切り換えを繰り返した時にMDチェンジャーが接続されている場合は、MD1は選択されなくなります。

## 6 曲を消す。

- ① SEEK/AMSボタンの一側を押して「Yes」を選ぶ。



- ② ENTERボタンを押す。

「Complete!」が数秒間表示され、再生中の曲が消されたあと手順5の表示に戻ります。

続けて曲を消すときは手順5～6を繰り返します。

## 7 MENUボタンを2回押す。

## MDの内容をすべて消す

一度に、MDの中の全曲と全曲名、ディスク名を消すことができます。消したあとは新しいMDと同じように使えます。

## 1 消去したいMDを再生してMENUボタンを押す。

## 2 DISC/PRSTボタンの+または-を押して「Erase」を選び、ENTERボタンを押す。

## 3 SEEK/AMSボタンの-側を押して「Disc」を選び、ENTERボタンを押す。

## 4 すべての内容を消去する。

- ① SEEK/AMSボタンの一側を押して「Yes」を選ぶ。



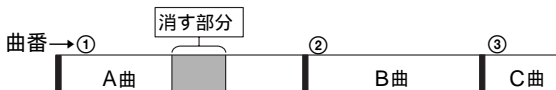
- ② ENTERボタンを押す。

「Complete!」が数秒間表示され、入れてあるMDの内容がすべて消えます。

## 曲中の一部分を消す

「曲を分ける」(44、45ページ)、「曲を消す」(41、42ページ)、「曲をつなぐ」(46ページ)の3つの機能を組み合わせて使い、1曲中の一部分だけを消すことができます。

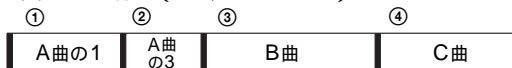
例) A曲の一部分を消します。



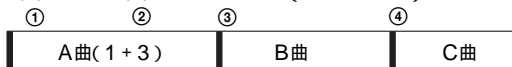
### 1 A曲を分ける(44、45ページ)



### 2 A曲の2を消す(41、42ページ)



### 3 A曲の1とA曲の3をつなぐ(46ページ)



# 曲を分ける

(ディバイド機能)

ラジオなどの録音では、最適なところに曲番が付かないことがあります。このため、1つの曲番のなかに複数の曲が入ることがあります。これをいくつかの曲に分け、それぞれに頭出しのための曲番を付けることができます。分けた曲以降の曲には自動的に連続した曲番が付きます。

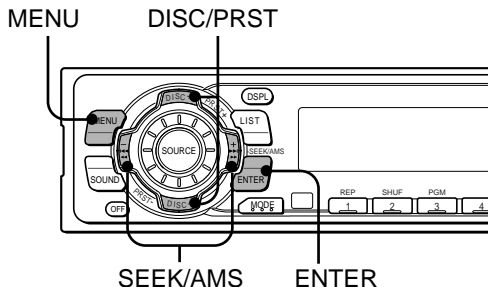
運転中は危険ですので曲を分けるなど、MD編集は行わないでください。

ちょっと一言

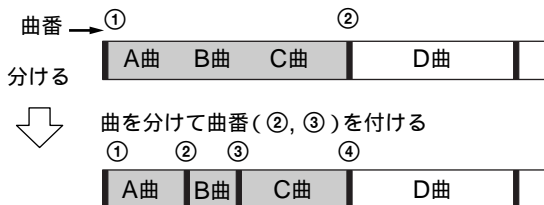
- 一度分けた曲をもとに戻すには「曲をつなぐ」(46ページ)をご覧ください。
- 編集後、MD取り出し時にディスク挿入口および▲(MD取り出し)ボタンが点滅します。

ご注意

- 分ける前に付いていた曲名は、前の曲だけに付き、後の曲には曲名が付きません。
- 「\*Impossible\*」が表示されたらその曲を分けることはできません。MDは何度も編集を繰り返すと分けられなくなることがあります。これは、MDのシステム上の制約で、故障ではありません。
- 編集中はREP、SHUF、PGM、DSPLの各ボタンは使えません。



例) 1つの曲番(①)にA、B、Cの3曲が入っているとき



**1** 分けたい曲を再生してMENUボタンを押す。

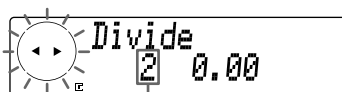
**2** DISC/PRSTボタンの+または-を押して「Divide」を選ぶ。



**3** ENTERボタンを押す。

再生中の曲のリピート再生になります。

**4** SEEK/AMSボタンの+または-を繰り返し押して、曲を選ぶ。



選んだ曲番号

ちょっと一言

- 分ける部分を変えたいときは、手順6でMENUボタンを押すと手順3に戻ります。
- 微調整のために曲が繰り返す部分は、手順5でENTERボタンを押した部分から前後2秒以内または曲の切れ目までです。

---

## 5 曲を分けたいところでENTERボタンを押す。



---

## 6 SEEK/AMSボタンの + または - を押して分ける部分を微調整する。

---

## 7 曲を分けたいところでENTERボタンを押す。

「Complete!」が数秒間表示され、曲が分かります。そのあと3曲目を再生して、手順4の表示に戻ります。

続けて曲を分けたいときは手順4~7を繰り返します。

---

## 8 MENUボタンを2回押す。

---

# 曲をつなぐ

## (コンバイン機能)

連続した2つの曲をつないで1曲にまとめることができます。何度も停止してコマ切れで録音したものを1つにまとめたり、不要な曲番を取ったりするときにお使いください。つないだ曲以降の曲には、自動的に連続した曲番が付きます。

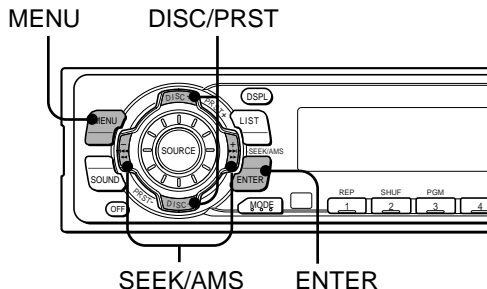
運転中は危険ですので曲をつなぐなど、MD編集は行わないでください。

### ご注意

- つないだ2曲両方に曲名が付いている場合は後の曲名が消えます。
- 「\*Impossible\*」が表示されたら、その2曲はつなぐことができません。  
MDは何度も編集を繰り返すと、つなげなくなることがあります。これはMDのシステム上の制約(79ページ)で、故障ではありません。
- 編集中はREP、SHUF、PGM、DSPLの各ボタンは使えません。

### ちょっと一言

編集後、MD取り出し時にディスク挿入口および▲(MD取り出し)ボタンが点滅します。



例) B曲とC曲をつなぐ



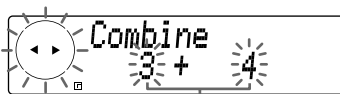
**1** つなぎたい曲の入っているディスクを再生してMENUボタンを押す。

**2** DISC/PRSTボタンの+または-を押して「Combine」を選ぶ。



**3** ENTERボタンを押す。

- 
- 4** SEEK/AMSボタンの+または-を繰り返し押して、つなぎたい2曲を選ぶ。



選んだ曲番号

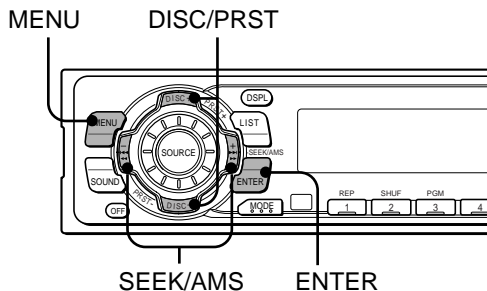
- 
- 5** ENTERボタンを押す。
- 「Complete!」が数秒間表示され、曲がつながったあと手順3の表示に戻ります。
- 続けて曲をつなげるときは、手順4、5を繰り返します。

- 
- 6** MENUボタンを2回押す。
-

# 曲を移動する

(ムーブ機能)

ある曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。移動後の曲番は、自動的に連続した曲番が付きます。



運転中は危険ですので曲を移動するなど、MD編集は行わないでください。

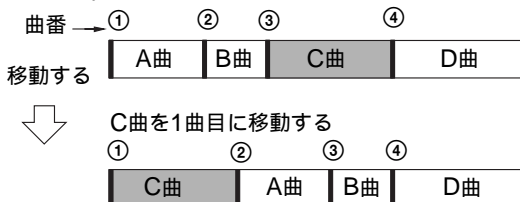
## ご注意

編集中はREP、SHUF、PGM、DSPLの各ボタンは使えません。

## ちょっと一言

編集後、MD取り出し時にディスク挿入口および▲(MD取り出し)ボタンが点滅します。

例) C曲を1曲目に移動する



**1** 移動させたい曲を再生してMENUボタンを押す。

**2** DISC/PRSTボタンの+または-を押して「Move」を選ぶ。

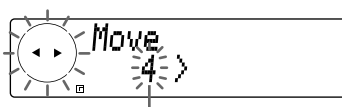


**3** ENTERボタンを押す。

1曲リピート再生になります。

**4** 移動したい曲を選ぶ。

① SEEK/AMSボタンの+または-を繰り返し押して、曲番号を選ぶ。



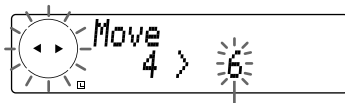
移動する曲番号

② ENTERボタンを押す。



## 5 移動先を選ぶ。

- ① SEEK/AMSボタンの + または - で曲番号を選ぶ。



移動先の曲番号

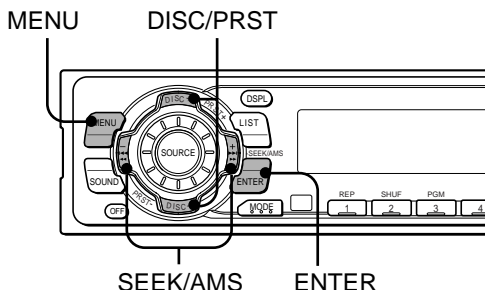
- ② ENTERボタンを押す。

「Complete!」が数秒間表示され、曲が移動されたあと手順3の表示に戻ります。続けて曲を移動するときは、手順4、5を繰り返します。

## 6 MENUボタンを2回押す。

# ディスク名や曲名 をつける (ネーム機能)

録音後に、ディスク名や曲名を記録  
することができます。1枚のMDには  
アルファベット/数字/記号で最大約  
1700文字、カタカナ文字のみで最大  
約800文字まで入力できます。



運転中は危険ですので名前  
入力など、MD編集は行わな  
いください。

入力できる文字

- アルファベット  
ABCDE...wxyz
- 数字・記号  
0123456789! " # \$ % & ' ( )  
\* + , - . / : ; < = > ? @ \_ `
- カタカナ  
アイウエオ...ヤユヨツ`。

ちょっと一言

- 名前をつけている間はリ  
ピート再生になります。  
曲名のとき：  
その曲のリピート  
ディスク名のとき：  
ディスクリピート

ご注意

編集中はREP、SHUF、  
PGM、DSPLの各ボタンは  
使えません。

## 名前を付ける

### 曲名を付ける

**1** 名前をつけたい曲の入っているMDを再生して  
MENUボタンを押す。

**2** DISC/PRSTボタンの+または-を押して  
「Name Edit」を選ぶ。



**3** ENTERボタンを押す。



**4** 「Track」が点滅している間に、ENTERボタンを  
押す。

**5** SEEK/AMSボタンの+または-を繰り返して名  
前をつけたい曲を選ぶ。



名前を付ける曲番号

**6** ENTERボタンを押す。

ちょっと一言

- DSPLボタンを押すごとに  
A → a → 0 → ア  
と切り換わります。  
すでにディスク名や曲名が  
記録されているMDのとき  
は、文字入力時にディスク  
名や曲名が表示されます。  
必要があれば手順5にした  
がって名前を変更してくだ  
さい。
- 一文字目に「**■**」は入力でき  
ません。
- 編集後、MD取り出し時に  
ディスク挿入口および▲  
(MD取り出し)ボタンが点  
滅します。
- 文字入力を間違えたとき  
は、SEEK/AMSボタ  
ンの一側を押して修正したい  
文字を点滅させ、正しい文  
字を入れ直します。

- 
- 7** DISC/PRSTボタンの+または-を押して文字を  
選び、SEEK/AMSの+側を押して次の文字へ移  
動させる。



スペースを入れたいときは、続けてSEEK/AMSボタンの  
+側を押します。

- 
- 8** 手順7を繰り返して、名前を付け終わったら  
ENTERボタンを押す。

曲名が記録されます。

「Complete!」が数秒間表示され、手順4に戻ります。

- 
- 9** MENUボタンを2回押す。

---

ディスク名をつける

- 
- 1** 「曲名をつける」の手順1~3の操作を行う。
- 
- 2** SEEK/AMSボタンの-側を押して「Disc」を選  
び、ENTERボタンを押す。
- 
- 3** 「曲名をつける」の手順7、8を行う。
- 
- 「Complete!」が数秒間表示されます。
- 

名前を変更するには

変更したい名前の上から新しい名前を入力し、ENTERボタ  
ンを押します。

## ディスク名や曲名をつける(つづき)

ちょっと一言

編集後、MD取り出し時に  
ディスク挿入口および▲  
(MD取り出し)ボタンが点  
滅します。

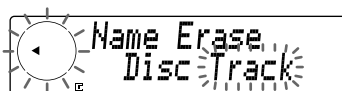
### 名前を消すには

#### 曲名を消す

- 1 名前を消したい曲の入っているMDを再生して、MENUボタンを押す。
- 2 DISC/PRSTボタンの+または-を押して「Name Erase」を選ぶ。



- 3 ENTERボタンを押す。



- 4 「Track」が点滅している間に、ENTERボタンを押す。

- 5 名前を消したい曲を選ぶ。

- ① SEEK/AMSボタンの+または-を繰り返し押しして曲番号を選ぶ。



名前を消す曲番号

- ② ENTERボタンを押す。

#### ちょっと一言

中止するときは、「No」を選びます。

#### ご注意

いったん消すと元に戻りません。もう一度確認してください。

## 6 曲名を消す。

- 1 SEEK/AMSの - 側を押して「Yes」を選ぶ。



- 2 ENTERボタンを押す。

「Complete!」が数秒間表示され、名前が消去されます。続けて他の曲の名前を消すときは手順5、6を繰り返します。

## 7 MENUボタンを2回押す。

### ディスク名を消す

- 1 「曲名を消す」の手順1～3の操作を行う。

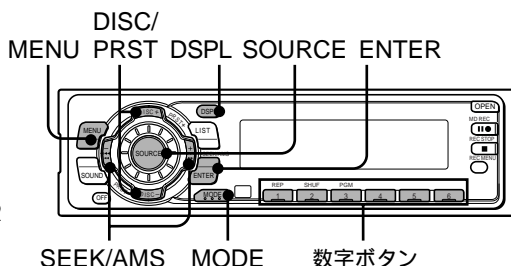
- 2 SEEK/AMSボタンの - 側を押して「Disc」を選び、ENTERボタンを押す。

- 3 SEEK/AMSの - 側を押して「Yes」を選び、ENTERボタンを押す。

「Complete!」が数秒間表示され、名前が消去されたあと、通常の表示に戻ります。

# 放送局を自動で登録する

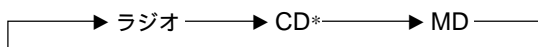
受信できる放送局を自動的に登録します。  
「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。



## ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネルに放送局が登録されます。

## 1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



\* 別売り機器接続時のみ表示されます。

## 2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すごとに

FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1

と切り換わります。

## 3 MENUボタンを押す。

## 4 DISC/PRSTボタンの+または-を押して「BTM」を選ぶ。



## 5 ENTERボタンを押す。

「BTM」(ベストチューニングメモリー)が点灯表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終ると通常の表示に戻ります。

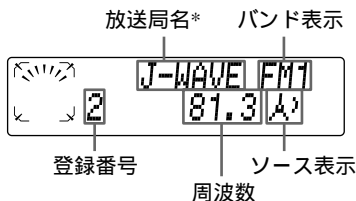
### ちょっと一言

放送局の名前の登録のしかたについて詳しくは、58、59ページをご覧ください。

## 登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に数字ボタンあるいはDISC/PRSTボタンの+または-を押して、聞きたい放送局を選ぶ。

## 表示窓の見かた



\* 名前を登録されている場合のみ表示します。

## 旅先などで、登録した放送局が受信できないときは(自動選局を使う)

SEEK/AMSボタンの+または-を押して離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、SEEK/AMSボタンを押し続け、聞きたい放送局の近くの周波数になったところで一度離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz (または9kHz) ごとに送れます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。
  - 1 ラジオ受信中にMENUボタンを押してから、DISC/PRSTボタンの+または-を押して「Local off」を表示させる。
  - 2 SEEK/AMSボタンの+側を押して「Local on」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順2で「Local off」を選びます。

### ちょっと一言

「Local on」を選ぶと自動選局中に「LCL Seek」が表示されます。

## 放送局を自動で登録する(つづき)

### ご注意

IF Autoモードを「Wide」にしても雑音が入って聞きにくいときは、「IF Auto」に戻してください。

### ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 FM受信中に、MENUボタンを押してから、DISC/PRSTボタンの+または-を押して「Mono off」を表示させる。
- 2 SEEK/AMSボタンの+側を押して「Mono on」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには  
手順2で「Mono off」を選びます。

### 受信周波数を自動的に調整する (IF Autoモード)

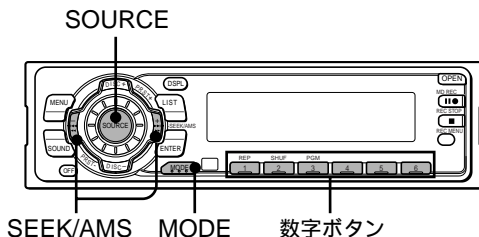
FM受信中に他の放送局の混信による雑音で放送が聞きにくくなる場合、帯域の幅を自動的にせばめます。このためステレオ放送がモノラルになることがあります。このような場合でもIF Autoモードを「Wide」に固定するとステレオで聞くことができます。

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 DISC/PRSTボタンの+または-を繰り返し押して、「IF Auto」を表示させる。
- 3 SEEK/AMSボタンの+側を繰り返し押して「Wide」を表示させる。
- 4 最後にENTERボタンを押す。



# 特定の放送局を登録する

放送局を自動登録(54ページ)したあと、空いているプリセットチャンネルに他の放送局を追加登録できます。



## ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

## ちょっと一言

- SEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて希望の放送局の近くの周波数まで来たら一度指を離し、短く繰り返し押していくと、0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。
- 「FM1」、「FM2」、「AM1」および「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ設定できます。

**1** SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。

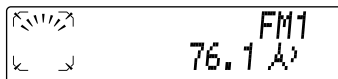
**2** MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すごとに

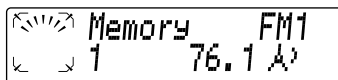
FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1

と切り換わります。

**3** SEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて、登録する局の周波数が表示されたところで離す。



**4** 登録したい数字ボタンを「Memory」が表示されるまで2秒以上押す。

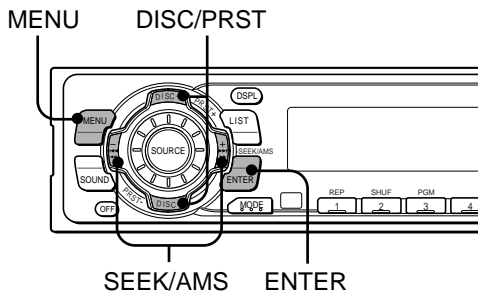


押した数字ボタンの番号が表示され、そのボタンに選んだ放送局が登録されます。

# 放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。



ちょっと一言

- DISC/PRSTボタンの+側を押すごとに  
A → B → C → ... Z →  
0 → 1 → 2 → ... 9 →  
+ → - → \* → / →  
\ → → → →  
と変わります。  
DISC/PRSTボタンの-側を押すと、逆順に表示されます。
- 文字入力を間違えたときは、SEEK/AMSボタンの-側を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

- 名前をつけたい放送局を受信する。
- MENUボタンを押す。
- DISC/PRSTボタンの+または-を押して「Name Edit」を選び、ENTERボタンを押す。



- DISC/PRSTボタンの+または-を押して挿入する文字を選び、SEEK/AMSボタンの+側を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けてSEEK/AMSボタンの+側を押します。

- 手順4を繰り返して、名前を入力し終わったらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

- 「放送局に名前をつける」  
(58ページ)の手順4で、すべての文字に「■」を入力して名前を消すこともできます。
- 手順3では、メモリーに保存されているすべての放送局名が登録された順に表示されます。最後に登録された放送局名が最後に表示されます。

## 放送局の名前を消去する

**1** ラジオ受信中にMENUボタンを押す。

**2** DISC/PRSTボタンの+または-を押して  
「Name Del」を選び、ENTERボタンを押す。



**3** DISC/PRSTボタンの+または-を押して消去する放送局名を選ぶ。



**4** ENTERボタンを2秒以上押す。

選択した放送局名が消去されます。

その他の放送局名を消去するには、手順3～4を繰り返します。

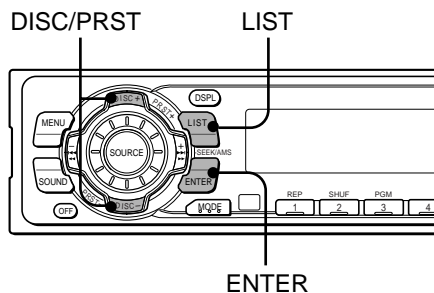
**5** MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

# 放送局を名前で 探す

(リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探すことができます。放送局に名前をつけるときは、58ページをご覧ください。

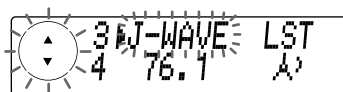


ちょっと一言

- 選択をキャンセルするには LIST ボタンを押します。
- 別売りのカードリモコンで操作しているときは、LIST ボタンを押して通常表示に戻します。本体だけで操作しているときは5秒後に通常表示へ戻ります。

## 1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



## 2 DISC/PRSTボタンの+または-を押して放送局を選ぶ。

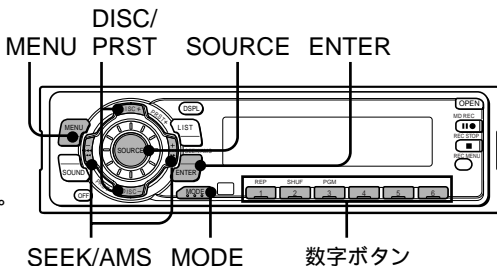
## 3 ENTERボタンを押す。

選局が終了すると通常の画面が表示されます。

ロータリーコマンドで放送局を選ぶには  
VOLつまみを押しながら回すとリストの中の放送局名を選択  
できます。

# 別売りのテレビ を見る

テレビを見るには、別売りのTVチューナーユニットとTVモニターを接続してください。



## ちょっと一言

- あらかじめ受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選ぶことができます。
- 「TV1」と「TV2」のそれぞれに6局ずつ、合わせて12局まで登録できます。

## チャンネルを登録する

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「TV」または「AUX」にする。



\* 別売りの機器が接続されている場合のみ表示されます。

- 2 MODEボタンを押して、「TV1」または「TV2」を選ぶ。

- 3 MENUボタンを押す。

- 4 DISC/PRSTボタンの+または-を押して「Auto Mem」を選ぶ。



- 5 ENTERボタンを押す。

「Auto Mem」が数秒間点灯表示され、受信状態の良い放送局が周波数順に登録されます。

TVモニターには「選局中」\*などと表示されます。

登録が終ると通常の表示に戻ります。

\* 表示はTVモニターの機種により異なります。

## 別売りのテレビを見る(つづき)

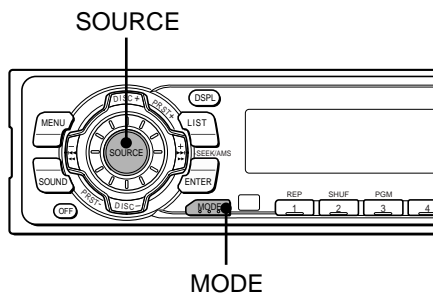
### 操作のしかた

選びかた/探しかた	操作のしかた
チャンネルを選ぶには	数字ボタン1～6あるいはDISC/ PRSTボタンの+または-を押す。
強制的にモノラル 受信するには	「ステレオ放送が聞きにくいとき」 (56ページ)の操作をする。
副音声を聞くには	<ol style="list-style-type: none"><li>1 TV受信中にMENUボタンを押す。</li><li>2 DISC/PRSTボタンの+または- を押して「Main」または「Sub」 を表示する。</li><li>3 「Main」の表示が出た場合は、 SEEK/AMSボタンの+側を押し て「Sub」を選び、ENTERボタ ンを押す。</li></ol> 通常の声に戻すには 手順3で「Main」を選びます。
特定のチャンネルを 登録するには	<ol style="list-style-type: none"><li>1 SOURCEボタンを繰り返し押し て「TV」または「AUX」にする。</li><li>2 MODEボタンを押して「TV1」 または「TV2」にする。</li><li>3 SEEK/AMSボタンの+または- を押して登録するテレビ局を受 信する。</li><li>4 登録したい数字ボタンを 「Memory」が表示されるまで押 す。</li></ol>
テレビ局に 名前をつけるには	「放送局に名前をつける」(58ペー ジ)の操作をする(手順1で、「TV1」 または「TV2」を受信する)。

# 別売りのビデオ を見る

ビデオを見るには、別売りのビデオデッキ  
およびTVチューナーユニットとTVモニター  
を接続してください。

接続のときには、ビデオデッキとTVモニター  
の取扱説明書をご覧ください。

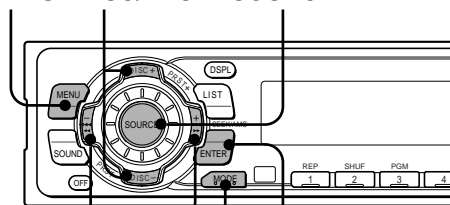


- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して「TV」または「AUX」にする。
- 2 MODEボタンを押して「AUX」を選ぶ。
- 3 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

# 映像を見ながら ディスクを聞く

(サイマルプレイ)

MENU DISC/PRST SOURCE



SEEK/AMS MODE ENTER

## ご注意

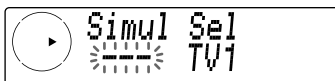
- ラジオを聞きながらのサイマルプレイはできません。
- サイマルプレイ中は、放送局やCD/MDの一覧は表示できません。
- サイマルプレイ中は、テレビの操作はできません。
- サイマルプレイ中にCD/MD機器のSTOPボタンや▲(マガジン取り出し)ボタン、本機のOFFボタンを押すとサイマルプレイは中断/解除されます。

## ちょっと一言

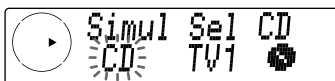
- サイマルプレイ中、「Video1」表示は「V1」となります。
- 手順3に戻ってディスクを「MD」または「CD」に変えたいときは、SEEK/AMSボタンの - 側を押します。

**1** TV受信中にMENUボタンを押す。

**2** DISC/PRSTボタンの+または-を押して「Simul Sel」を選び、ENTERボタンを押す。

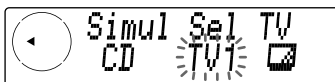


**3** SOURCEボタンを押して「CD」または「MD」を選ぶ。



**4** SEEK/AMSボタンの+側を押す。

**5** MODEボタンを押して映像機器(「TV1」, 「TV2」または「V1」)を選ぶ。



**6** ENTERボタンを押す。

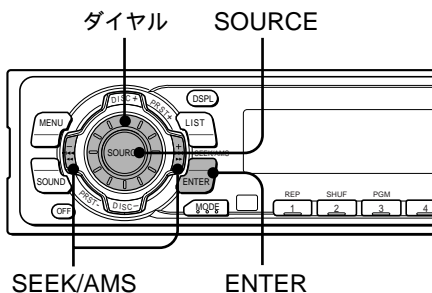
サイマルプレイが始まります。

サイマルプレイをやめるには  
テレビまたはビデオを止めるには  
手順5で「 - - - 」を選びます。  
CDまたはMDを止めるには  
手順3で「 - - - 」を選びます。



# 電話をかける

別売りのPDCハンズフリーユニットXCH-1000を接続すると、携帯電話を手を持たずに通話することができます。相手の音声はカーオーディオのスピーカーから聞こえ、こちらの音声はサンバイザーマイクを通して相手に伝えられます。



## ご注意

- 携帯電話に登録されている名前は、アルファベットとカタカナ、数字のみ表示できます。また、小文字や記号は大文字に変換されたり、表示できない場合もあります。
- 電話側の登録可能件数に関わらず、本機では、携帯電話のプリセット番号000～299(001～300)に登録されているメモリのみを表示します。
- 携帯電話に300件すべて登録されている場合は、アダプター接続後、すべてを表示するのに、最大5分ほどかかります。
- 次の表示の場合、電話がかけられません。  
「ケンガイ」:  
圏外るとき  
「ハッシンフノウ」:  
発信不能のとき  
「No Phone」:  
電話が接続されていない

## ちょっと一言

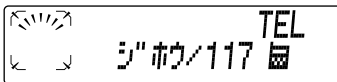
- カードリモコンで操作する場合は、VOL+ / - ボタンで相手先を検索してください。
- ロータリーコマンダーで発信する場合は、VOLつまみを押して離してください。
- 通話中、相手の声をMDに録音することができます。詳しくは、「ラジオ放送を録音する」(39～40ページ)をご覧ください。

## 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「TEL」表示にする。



\* 別売りの機器を接続時のみ表示されます。

## 2 ダイヤルを回して、携帯電話に登録されている電話番号や相手の名前を選ぶ。

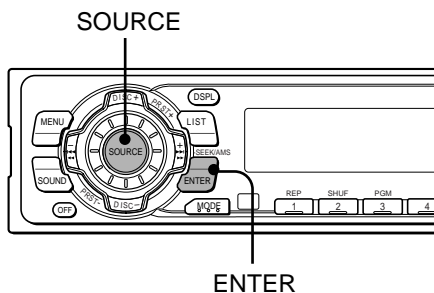


発信/着信履歴にある番号にかけるには  
SEEK/AMSボタンの+または-を押して履歴にある番号を探す。

発信/着信履歴の表示のしかたについては67ページをご覧ください。

## 3 ENTERボタンを押して発信する。

# 電話を受ける



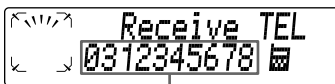
## ちょっと一言

ロータリーコマンダーで電話を受ける場合は、VOLつまみを押して離してください。

## ご注意

- 表示される通話時間は厳密ではありません。目安としてください。
- 本機に表示される電波の強さは、携帯電話の表示とは一致しません。
- 録音中は自動的に「TEL」に切り換わりません(着信音も鳴りません)。

- 1 スピーカーと本体から着信音が鳴り、自動的に「TEL」に切り換わる。

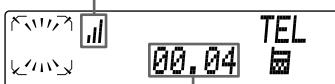


電話番号

電話機の設定により相手の電話番号を表示します。

- 2 ENTERボタンを押す。

電波の強さ(3段階)

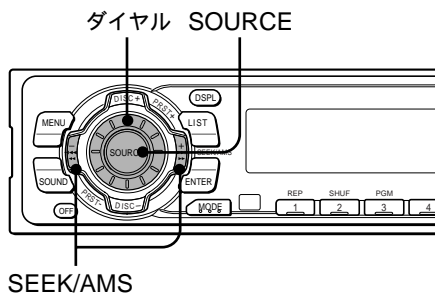


通話時間

電話がつながると、通話時間が表示されます。

電話を受けずにもとのソースに戻るには  
手順1の次にSOURCEボタンを押します。

# その他の操作



## ご注意

- 携帯電話で通話する際は、ハンズフリーユニットから外さないでご使用になれません。
- 携帯電話をハンズフリーユニットから外すと、発信/着信履歴が消去されます。
- 次の場合、通話が途切れます。

SOURCEボタンや  
MODEボタンを押したとき  
サービスエリア外や電波  
が届かない所へ移動した  
とき

- 携帯電話をハンズフリーユニットから外す場合は、必ず「TEL」以外のソース表示になっているときに行ってください。

## 通話が終わったら

もとのソースに戻るときは、SOURCEボタンを押す。  
通話相手が電話を切ったときは、自動的にもとのソースに戻ります。

## 受話器の音量を調節するには

通話中はダイヤルが音量の調節になります。ダイヤルを回して希望の音量に調節してください。

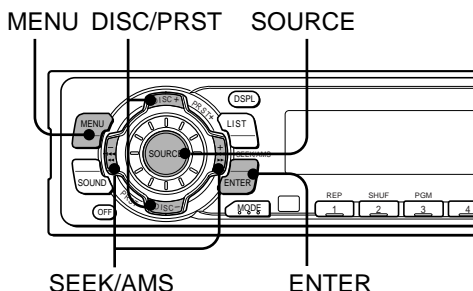
## 発信・着信履歴を表示するには

SEEK/AMSボタンの+側を押すと発信履歴、-側を押すと着信履歴がそれぞれ最大10件まで呼び出せます。

## 本機に電話番号を登録するには

- 1 SEEK/AMSボタン、またはダイヤルで希望の電話番号を表示させる。
- 2 登録させたい数字ボタンを2秒以上押す。

# その他の設定



## 着信の設定

- 「RCV ON/OFF」→ 電話を受けられないようにする(着信拒否設定)
- 「Alarm」→ 本体の着信音をON/OFFする(スピーカーからの着信音はOFFにできません)

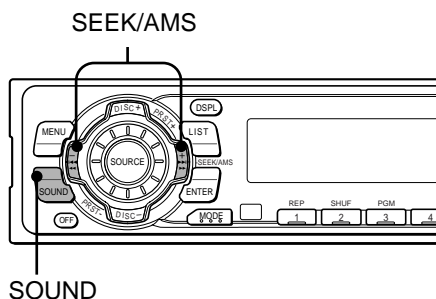
- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「TEL」表示にする。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 DISC/PRSTボタンの+または-を押して設定したい項目を選ぶ。
- 4 SEEK/AMSボタンの+側を押して設定を選び、ENTERボタンを押す。

## 発信・着信履歴を消去する

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「TEL」表示にする。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 DISC/PRSTボタンの+または-を押して「History」を選び、ENTERボタンを2秒以上押す。  
「Clear」が数秒間表示され、発信・着信履歴が消去されます。

# 音のバランスや 音質を設定する

(バランス/フェーダー)  
(バス/トレブル)



ちょっと一言

SOUNDボタンを押すごとにBass → Treble → Balance (left/right) → Fader (front/rear) → Bass...と切り換わります。項目を選択して3秒以内に調節してください。

## 出力バランスを調節する

前後と左右のスピーカー出力のバランスを別々に調節することができます。

- 1 SOUNDボタンを繰り返し押し、「Balance」または「Fader」にする。



バランス調節モード

左右を調節する .....「Balance」にする。

前後を調節する .....「Fader」にする。

- 2 SEEK/AMSボタンの+または-を押して出力バランスを調節する。

3秒後に通常のモードに戻ります。

## 音のバランスや音質を設定する(つづき)

### 音質を設定する

Bass(バス)とTreble(トレブル)はソースごとに調節できます。

- 1 SOUNDボタンを繰り返し押し、「Bass」または「Treble」にする。



バス調節モード

低音を調節する .....「Bass」にする。

高音を調節する .....「Treble」にする。

- 2 SEEK/AMSボタンの+または-を押して音質を調節する。

3秒後に通常のモードに戻ります。

### ちょっと一言

別売りのロータリーコマンダーのATTボタンでも操作できます。

### 音量を瞬時に小さくする

別売りのカードリモコンのATTボタンを押す。

「ATT on」と表示され、自動的に音量を下げます。

もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。  
「ATT off」と表示され、もとの音量に戻ります。






(SA)

Diagram of the front panel controls of the VHS VCR. The controls include:

- MENU**: A button on the left side of the central selector.
- DISC/PRST**: A button on the right side of the central selector.
- SEEK/AMS**: A button on the right side of the central selector.
- ENTER**: A button on the right side of the central selector.
- SOURCE**: A central rotary selector with positions for **VIDEO**, **DISC**, and **VIDEO**.
- OSPL**: A button above the **LIST** button.
- LIST**: A button below the **OSPL** button.
- REPEAT**: A button below the **SEEK/AMS** button.
- SHUFF**: A button below the **SEEK/AMS** button.
- PGM**: A button below the **SEEK/AMS** button.
- MODE**: A button below the **SEEK/AMS** button.
- 1**, **2**, **3**, **4**: Four buttons below the **MODE** button.

モーションディスプレイの設定を「M.Dspl 1」または「M.Dspl 2」にしていると、スペクトラムアナライザは表示されません。

設定の種類	表示パターン
設定の種類	表示パターン

SA 1	
SA 2	
SA 3	
SA 4	
SA 5	
SA off	設定解除
SA Auto	SA 1 ~ SA 5のパターンを順に表示します。

表示パターンによっては、ディスク名、曲名および再生経過時間などを表示しないものがあります。

## サウンドの設定

次のページへつづく

## スペクトラムアナライザーを選ぶ( つづき )

---

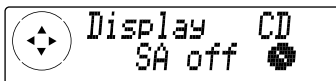
**1** ソース( CD、MD、ラジオなど )を再生 / 受信する。

---

**2** MENUボタンを押す。

---

**3** DISC/PRSTボタンの + または - を繰り返し押して、「SA」を選ぶ。



---

**4** SEEK/AMSボタンの + または - を押してSAのパターンを選びENTERボタンを押す。

SEEK/AMSボタンを押すごとに

SA 1 ↔ SA 2 ↔ SA 3 ↔ SA 4 ↔ SA 5 ↔

SA off ↔ SA Auto

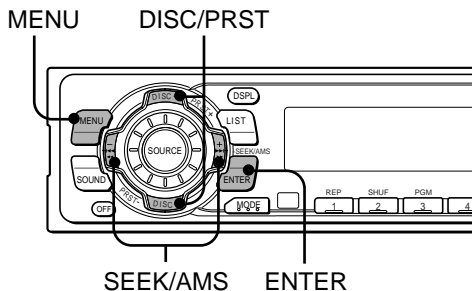
と切り換わります。

---



# 音や表示などの 設定を変える

( Set Up/Display/Sound )



## Set Upメニュー

設定の種類 設定内容

- 「Clock」 時計の設定 ( 18ページ )
- 「Beep」 操作ボタンを押したときの「ビッ」という音を on/offする。
- 「RM」 ロータリーコマンドーのつまみの操作方向を切り換える。  
 「norm」 → 初期設定の回転方向。  
 「rev」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。

## Displayメニュー

設定の種類 設定内容

- 「SA」 スペクトラムアナライザーの設定 ( 21ページ )
- 「D.Info」 常に時計を表示させる。
- 「Amber/ Green」 操作ボタンの照明色を変える。  
 「Amber」 → オレンジ色  
 「Green」 → 緑色
- 「Dimmer」 表示窓の減光を設定する。  
 「Auto」 → 車の照明をONにすると表示が減光する。  
 (車の照明電源に接続されている場合のみ)  
 「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。  
 「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
- 「Contrast」 表示のコントラストを変える。

次のページへつづく

その他の操作

## 音や表示などの設定を変える(つづき)

ちょっと一言

- 別売りのカードリモコンで操作をしているときは、もう一度MENUボタンを押して通常再生画面に戻します。
- 本体で操作をしているときは操作なしで5秒後に戻ります。
- 選べる項目はソースによって異なります。
- 選択した項目を変更しないでもとの画面に戻るには、MENUボタンを押します。
- 目的の項目を選ぶために「Set Up」、「Display」、「Sound」などのメニュー間をとばしていくにはDISC/PRSTボタンを2秒以上押します。

---

「M.Dspl」	モーションディスプレイの設定をする。 「1」「2」→ 表示中にモーションディスプレイする(2タイプ) 「off」→ モーションディスプレイしない。
----------	---

---

「A.Scr1」	MDまたはCD TEXT対応のディスク再生時、表示を自動的にスクロールさせる(31ページ)
----------	---

---

### Soundメニュー

---

設定の種類	設定内容
-------	------

---

「Loud」	小音量でも低音と高音を強調してメリハリのある音にする。
--------	-----------------------------

---

## 設定を変える

---

**1** MENUボタンを押す。

---

**2** DISC/PRSTボタンの+または-を押して設定したい項目を選ぶ。

表示例

Clock → Beep → RM → D.Info\*1 → SA\*1 →  
Amber/Green → Dimmer → Contrast →  
M.Dspl → A.Scr1\*2 → Loud\*1

\*1 再生/受信の停止中は表示されません。

\*2 CD TEXT機能付きの機器でCD再生時またはMD再生時のみ。

---

**3** SEEK/AMSボタンの+または-を押して調節したい設定にする。

(例:「on」または「off」)

---

**4** ENTERボタンを押す。

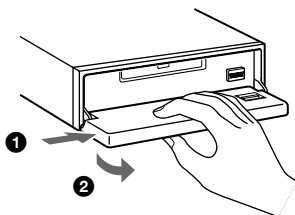
---

# 使用上のご注意

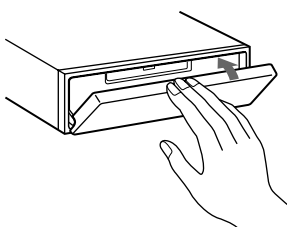
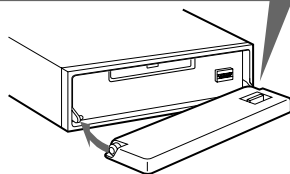
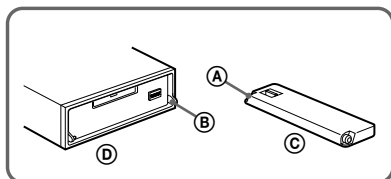
## 本機の取り扱い

### フロントパネルについて

取り外すときは必ず、OFFボタンを押して、電源を切ってから、OPENボタンを押してフロントパネルを開けてください。フロントパネルを右に押しながら手前に引くと外れます。



取り付けるときは、フロントパネルの④部分と本体の⑧部分を合わせて、フロントパネルを押し込み、フロントパネルの③部分と本体の⑨部分を合わせて取り付けます。

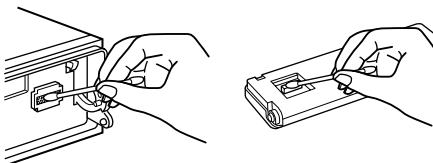


### ⚠ 注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上部を押したり、強い力をあたえないでください。

### コネクターのお手入れについて

フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

### 液晶表示について

極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示にもどります。

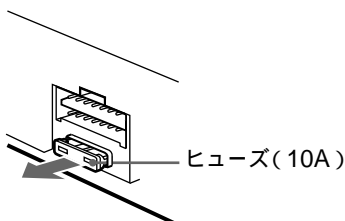
### 本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

## 使用上のご注意(つづき)

### ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



### 結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

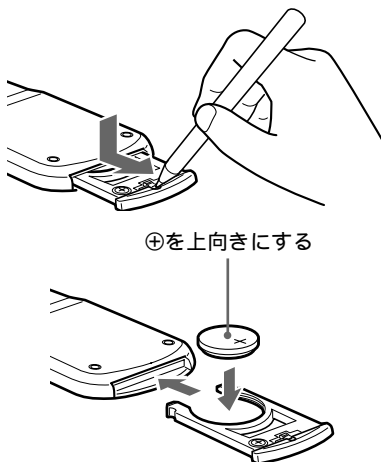
結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、MDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、MDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申し付けください。

## カードリモコン

### 電池の入れかた

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



### ご注意

- カードリモコンの電源にはボタン型電池を使用しています。
- ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、カードリモコンおよび電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

### 電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます(使用方法によっては短くなります)。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

### 電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

#### 警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

#### 注意

- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

### カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

# MDの編集について

MDでは、曲番(頭出しマーク)で曲と曲を区切っています。この曲番によって、曲の頭出しなどがすばやくできます。曲番は、録音の内容に関係なく付けられますので、音楽として1つの曲であっても、途中で曲番を付けることによって複数の「曲」に分けることもでき、逆に、複数の音楽を1つの「曲」としてまとめることもできます。

曲番の付きかたは録音のしかたや録音状況によって異なります

録音方法	曲番が付く位置
ラジオを録音する(10、39、40ページ)	録音を一時停止したところ
CD/MDから録音する(11、33～38ページ)	• CD/MDと同じところ • 録音を一時停止したところ

曲番は、録音後もMD編集によって消したり付けたりすることができますので、ラジオから録音したときなど、思ったところに曲番が付いていない場合に付け直すことができます。

曲番を正しく直すには

- 曲番を消す  
→「曲をつなぐ(コンバイン機能)」(46ページ): 曲番を消すことによって、前後の「曲」が1つの「曲」になります。
- 曲番を追加する  
→「曲を分ける(ディバイド機能)」(44、45ページ): 曲番を追加することによって、1つの「曲」が2つの「曲」に分けられます。

こんなこともできます

- 1曲ずつ消す  
→「曲を消す(イレース機能)」(41ページ)
- MDの内容をすべて消す  
→「曲を消す(イレース機能)」(42ページ)
- 曲順を入れ変える  
→「曲を移動する(ムーブ機能)」(48、49ページ)
- 好きなところを頭出しする  
→「曲を分ける(ディバイド機能)」(44、45ページ)
- 好きなところをつないでメドレーにする  
→ 次の機能を組み合わせて使います。
  - 「曲を移動する(ムーブ機能)」(48、49ページ)
  - 「曲を分ける(ディバイド機能)」(44、45ページ)
  - 「曲を消す(イレース機能)」(41ページ)
  - 「曲をつなぐ(コンバイン機能)」(46ページ)

ご注意

- 編集後、MD取り出し時にディスク挿入口が点滅します。
- 運転中は危険ですのでMDの編集は行わないでください。

# MDのシステム上の制約について

MDではいくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間に達していなくても、「Disc Full」が表示される

255曲録音されると、それ以上の録音はできません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音するか、別のMDを使ってください。

曲数(最大255曲まで)にも録音時間にも余裕があるのに「Disc Full」が表示される

曲中にエンファシス情報などの入り切りが多く行われたり、録音や編集をくり返し行くと、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」が表示されます。

曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても、録音できる残り時間が増えないことがあります。

曲をつなげない

つなごうとする曲の長さが8秒以下のとき、その曲の曲番を消して曲をつなぐことはできません。また、編集を行ってできた曲はつなぐことができない場合があります。

ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間と一致しない  
通常、録音は約2秒を最小単位としてディスクに記録します。2秒に満たない場合でも、実際には2秒分のスペースを使います。このため、実際に録音できる時間は少なくなります。また、MDに傷があるとその部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

編集した曲を再生しながら早送り、巻戻しすると音が途切れる

再生しながら早送り、巻戻しするときは通常より高速で再生します。このため、短い曲がディスクの上に分散していると探すのに時間がかかり、音が途切れることがあります。

## MDのシステム上の制約について(つづき)

デジタルオーディオソフトをコピーするときのルール — シリアルコピーマネージメントシステム

デジタルオーディオとは、音声信号を数値(デジタル)でやりとりするオーディオ機器です。コンパクトディスク(CD)、ミニディスク(MD)、デジタルオーディオテープ(DAT)などがこれにあたります。

これらは音楽を手軽に、ほとんど劣化なしでコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要になりました。「シリアルコピーマネージメントシステム」です。

本機的设计はこのシステムに準拠しています。概要は右記の通りです。

デジタル信号同士のコピー\*は1世代まで原則1

市販のデジタル音楽ソフトのコピーは作れるが、コピーのコピーは作れない。

原則2

市販のアナログ音楽ソフト(アナログレコードやミュージックカセットテープ)や公共放送を録音したもののコピーは作れるが、コピーのコピーは作れない。

MDプレーヤーのアナログ出力端子同士をつないで録音した場合のように、デジタル信号をアナログ信号にして録音した場合はこの原則に当たりません。

\* コピーとはここでは「デジタル信号をデジタル信号のまま録音したもの」を指します。



# 故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。  
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 音量を上げてください。</li><li>• ATT機能を解除してください。</li><li>• スピーカー接続時：スピーカー出力の設定が正しくない。2スピーカーで聞くとときは、スピーカーバランスをフロントまたはリア側にしてください。</li><li>• デジタル接続が正しくされているか確認してください。付属の取付け金具でアダプターを固定してください。</li></ul>
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"><li>• リセットボタンを押した。</li><li>• 動作電源コードまたはバッテリーを外した。</li><li>• 電源コードが正しく接続されていない。</li></ul>
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → Beepの設定(73、74ページ)を「on」にしてください。
	なにも表示されない。	OFFボタンを2秒以上押して時計表示を消した状態になっている。 → もう一度OFFボタンを2秒以上押して、時計表示を出してください。
MD/CD	再生/受信の停止中、時計表示にならない。	モーションディスプレイが表示されている(「M.Dspl」の設定が1または2になっている)。 → M.Dsplの設定をoffにしてください。(73、74ページ)
	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"><li>• すでに別のディスクが入っている。</li><li>• ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → レーベル(ラベル)面を上に入れてください。</li><li>• 周囲の温度が50℃を越えている。</li></ul>

## 故障かな?( つづき )

	症状	原因・処置
MD/CD	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。</li> <li>ディスクが傷ついている。</li> <li>本機の取り付け角度が20°を越えている。</li> <li>本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。</li> <li>MDではごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。</li> </ul>
	ボタンを押しても動作しない。	リセットボタンを押してください。
	「-----」表示が消えない。	<p>CD再生中( カスタムファイル機能対応のCDチェンジャーを接続時 )に、Name Edit( 名前入力 )モードに入った。</p> <p>→ LISTボタンを2秒以上押してください。</p>
M D	MDが再生できない。	<p>何も録音されていないMDが入っている。</p> <p>→ 録音済みのMDに入れ換えて下さい。</p>
	録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>MDが誤消去防止状態になっている(「Protected」が表示される)。 → MDの誤消去防止つまみを戻して穴を閉じる。</li> <li>再生専用MDが入っている(「Pre Mastered」が表示される)。 → 録音用MDと交換する。</li> <li>MDの録音できる残り時間が足りない(「Disc FULL」が表示される)。 → 不要な曲を消すか、別のMDと交換する。</li> <li>RECコンティニュー機能またはタイマーオフ録音中にエンジンをかけた。 → RECコンティニュー機能またはタイマーオフ録音中にはエンジンをかけないでください。</li> </ul>
	録音した音がとぶ。	<p>振動の多い道路などで録音した。</p> <p>→ 振動の少ない場所で録音する。</p>

症状	原因・処置
受信できない、雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください。リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。</li> <li>・ カーアンテナとの接続を確認してください。</li> <li>・ オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。</li> <li>・ 周波数を確認してください。</li> <li>・ IF機能が「Wide」になっている。 → 「Auto」にしてください(56ページ)。</li> </ul>
ラジオ/テレビ	<p>SEEK/AMSボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「Local」設定を「on」にしている場合は電波の強い周波数のみ受信します。 → 設定を「off」にしてください(55ページ)。</li> <li>・ 電波が弱くて自動選局できない。 → SEEK/AMSボタンを押し続けて周波数を合わせてください。</li> </ul>
	<p>ステレオ放送が聞きにくい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周波数を確認してください。</li> <li>・ 電波が弱い。 → モノラルモードに設定してください(56ページ)。</li> </ul>
	<p>ステレオ放送がモノラルで聞こえる。</p> <p>モノラルモードになっている。 → ステレオモードに設定してください(56ページ)。</p>
エンジンをやめてもパワーアンテナが上がったままになっている。	<p>タイマーオフ録音中である。 → 録音を停止してください。</p>
テレビのリセットボタンを押したとき、モニターに何も映らなくなったり本体のボタンが効かなくなる。	<p>テレビのリセットボタンを押した後は必ず本体のリセットボタンを押してください。</p>
サウンド設定	<p>音がでない、または音が小さい。</p> <p>バランス・フェーダーの調節で特定のスピーカーの音量が小さくなった。 → スピーカーバランスは、音のバランスや音質の設定(69、70ページ)で調節できます。</p>

## 故障かな?( つづき )

症状	原因・処置
通話相手の音声聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーカーの音量が「0」または最小になっている。 → 本機のVOLダイヤルで音量を調整してください。</li> <li>・走行ノイズなど、周囲の雑音が大きいとき、マイクより音声入力があったものと認識して通話相手の音声を閉じてしまうことがあります。</li> </ul>
ダイヤルしたが話中音がしてつながらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話番号が間違っている(市外局番を入れていない)。</li> <li>・通話相手が圏外にいる。</li> <li>・電波の弱いところにいる。 → サービスエリア内でダイヤルしてください。</li> <li>・アンテナを充分に伸ばしていない。</li> </ul>
ENTERボタンを押しても発信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話の発信制限やメモリ制限がかかっている。</li> <li>・携帯電話の簡易ダイヤルロックがかかっている。</li> </ul>
携帯電話機に登録されたメモリが呼び出せない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話の短縮ダイヤル使用制限などがかかっている。</li> <li>・携帯電話ハンズフリーキットXCH-1000で取り込むことのできるプリセット番号以外の番号に登録されている(65ページ)。</li> <li>・登録されているメモリ件数が多いため、呼び出すのに時間がかかっている。 → しばらくお待ちください(最大5分)。</li> </ul>
電話がかかってこない。	携帯電話の着信制限がかかっている。
電話がかからない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ケンガイ」(圏外)や「ハッシンフノウ」(発信不能)が表示されている。 → しばらく待ってからかけ直してください。</li> <li>・回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている。 → しばらく待ってからかけ直してください。</li> </ul>
「No phone」と表示される。	携帯電話が接続されていない(外れている)。 → 携帯電話を接続してください。

## 故障かな?( つづき )

### CD/MDのメッセージ、エラー表示

本機や本機に接続されたCDチェンジャー、MDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank	MDに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
High Temp	周囲の温度が50 以上になった。	50 以下に下がってから再生する。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO Mag	CDチェンジャーにディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CDチェンジャーに入れる。
NG Discs	チェンジャー内のディスクが何らかの原因ですべて再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
Push Reset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。
Error	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
Not Ready	MDチェンジャーのフタが開いている、あるいはMDが正しく挿入されていない。	フタを閉めMDを正しく挿入する。

## 故障かな?( つづき )

### MD録音のメッセージ、エラー表示

エラー表示	原因
Cannot Copy	市販の音楽ソフトをコピーしたものをデジタル録音しようとした。
Cannot REC	録音しようとしたが、ディスクの情報が読めず録音できない。
Disc Full	録音可能時間が少なく、録音できない。 すでに255曲録音されていて新しい曲が録音できない。
High Temp	録音中、TOC WRITING中に、高温状態になり継続することができなくなった。
NO D-In	光ケーブルが接続されていない。 CD-ROMディスクを音声として、デジタル録音しようとした。
Pre Mast	市販の再生専用MDに録音しようとした。
Protected	ディスクが誤消去防止ロック(プロテクト)されている (6ページ)。
UTOC Wr NG	録音、編集された情報を、ディスクに書き込むことができなかった。
Wr Error	正常に録音することができなくなった。
**Wait**	データの読み込みが終了するまで表示されます。

## MD編集のメッセージ、エラー表示

エラー表示	原因
Complete!	EDIT正常終了(この表示のあとしばらく音が出なくなります が故障ではありません)
Impossible	<ul style="list-style-type: none"><li>• 曲数がいっぱいの状態(最大255曲)で曲を分けようとした ( Divide )</li><li>• 曲の先頭で曲を分けようとした( Divide )</li><li>• 同じ曲どうしをつなげようとした( Combine )</li><li>• つなごうとした曲がMDのシステム上の制約( 79ページ ) で、つなげない状態になっている( Combine )</li><li>• 同じ曲順に移動しようとした( Move )</li></ul>
Name Full	入力可能な文字数( 約1700文字 )がすでに記録されている。
NO Name	ディスクまたは曲の名前を消そうとしたが、名前がついてい ない。
Pre Mast	市販の再生専用MDに編集しようとした。
Protected	ディスクが誤消去防止ロック( プロテクト )されている ( 6ページ )

# 保証書とアフターサービス

## 保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

### 保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

### 保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

### 保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

### 部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。



# 主な仕様

## MDレコーダー部

SN比	92dB
周波数特性	10～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

## チューナー部

### FM

受信周波数	76～90MHz (テレビ1～3ch)
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	8dB
周波数特性	30～15,000Hz
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	66dB(ステレオ) 72dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.6%(ステレオ) 0.3%(モノラル)

### AM

受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30μV

## トーンコントロール

Bass(低音)	±9dB(100Hz)
Treble(高音)	±9dB(10kHz)

## アンプ部

適合インピーダンス	4～8
最大出力	45W×4(4 負荷1kHz)

## 電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子、 光デジタル入力端子、 ATT入力端子(ナビ用) イルミネーション端子
本体寸法	約178×50×184mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178×50×163mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.5kg
付属品	取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)

別売品

CDチェンジャー(10枚)  
CDX-838\*、CDX-737など  
MDチェンジャー(6枚)  
MDX-65\*など  
PDCハンズフリーユニット  
XCH-1000  
パワーアンプ  
XM-604EQXなど  
ソースセクター XA-C30  
カードリモコン  
RM-X91  
ロータリーコマンダー  
RM-X4S  
バスケーブル(RCAピンコード  
付属)  
RC-61(1m)  
RC-62(2m)  
バス延長コード(RCAピンコード  
付属)  
RC-87(2m)  
RCAピンコード  
RC-63(1m)  
RC-64(2m)  
RC-65(5m)  
光音声用コード  
RC-103(60cm)  
RC-97(2m)  
RC-98(5m)  
光アダプター  
XA-D110  
電源コード RC-39

\* ソニーバス光デジタルシステム対応

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライザーは接続できません。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンス  
コーポレーションの米国及び外国特許に基づく許  
諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更  
することがありますが、ご了承ください。

# 索引

## 五十音順

### ア行

エラー表示 ..... 84 ~ 87

音量 ..... 8、9

### カ行

カスタムファイル ..... 28、29

### サ行

サイマルプレイ ..... 64

スクロール ..... 21

ステーションメモ ..... 58、59

シャッフル ..... 23

ステレオ放送 ..... 56

スピーカーバランス ..... 69

スペクトラムアナライザー  
..... 71、72

### タ行

ディスクメモ ..... 28、29

テレビ ..... 61、62

名前をつける ..... 58

登録 ..... 61

#### 登録

自動登録 ..... 54

ラジオ局 ..... 54、55

テレビ局 ..... 61

時計 ..... 18

### ナ行

#### 名前

##### 消去する

..... 29、52、53、59

つける ..... 28、50、51、58

##### 表示する

..... 21、30、32、55、60

### ハ行

バランス ..... 69

ヒューズ ..... 76

#### 表示窓

メニュー ..... 17

MD/CD ..... 19

ラジオ ..... 55

プログラム ..... 24 ~ 27

フロントパネル ..... 75

ベストチューニングメモリー

(BTM) ..... 54

ボタンの音 ..... 73、74

## ラ、ワ行

ラジオ ..... 9、54 ~ 60

自動選局 ..... 54

登録 ..... 54、55、57

名前で探す ..... 60

名前をつける ..... 58

リスト ..... 30、60

リセット ..... 7

リピート ..... 22

#### リモコン

カードリモコン ..... 14、76

ロータリーコマンダー

..... 15、16

## アルファベット順

ATT ..... 16、70

Balance ..... 69

MD/CD ..... 19 ~ 32

ディスク名のリスト ..... 30

名前で探す ..... 30、60

名前を消去する ..... 29、52

名前をつける ..... 28、50

CD TEXT ..... 31、32

#### Display

A.ScrL ..... 21、31、74

Contrast ..... 73、74

D.Info ..... 73、74

Dimmer ..... 73、74

M.Dspl ..... 74

SA ..... 71、72

#### Edit Mode

BTM ..... 54

Name Edit ..... 58

Name Del ..... 59

#### Play Mode

Local ..... 55

Mono ..... 56

Repeat ..... 22

#### Set Up

Beep ..... 73、74

Clock ..... 18

RM ..... 73、74

Shuf ..... 23

#### Sound

Loud ..... 74

**ソニー株式会社**

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311

● Fax…………… 0466-31-2595

受付時間: 月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

保証期間中の操作や取り付け・接続、故障に関する  
お問い合わせは

テクニカルインフォメーションセンターへ  
( モービルエレクトロニクス専用 )

0120-64-0131 (フリーダイヤル)

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

Sony Corporation Printed in Japan



\* 1 - 3 - 0 4 8 - 1 8 1 - 0 1 \* (1)